京城日報

十六日夕刊

發行所 合資會社 京城日報社

○太平洋運賃遞減問題 石井特使ハレー氏と協商

石井特派大使は管船局總裁ハレー氏と會商し太平洋に於ける運賃の一般的遞減問題に關して協議する所ありたり（華盛頓電報）

○正金取付騷ぎの原因

正金銀行支店取付騷ぎにつき支那官憲は調査を開始したるが其の報告に據れば十三日午後上海方面より近來正金銀行は準備金なくして多額の紙幣を濫發せりとの入電あり煽動者は此の電報を利用せるものなりと（北京特電）

露國内の騷亂

▲コ將軍の捕縛は疑問 英國での取沙汰

コルニロフ將軍の捕縛説に就て英國にては疑問を以て迎へられつゝあり其の疑問の理由とする所は露國の通信機關が悉く露國政府の手に在るを以てなり（倫敦電報）

▲兩派兵力相伯仲す

コルニロフ將軍の麾下は四箇師團にしてケレンスキー氏の麾下は露都に在る十二個聯隊なるを以て其の兵力相伯仲せり（露都電報）

▲コ將軍の政府痛撃

コルニロフ將軍は其の宣言書に於て臨時政府のなす所は獨逸參謀本部を利するに過ぎず予の敢て此の態度に出づるは彼等の手より露西亞を救出せんとする憂國の情に堪へざるものあればなりと（露都電報）

▲各國大使調停申出

各聯合國大使は彼等がコルニロフ將軍を援助せりとの新聞紙の批難を否認し且つ大使等は十日兩者の間に調停の勞を執らんことを申出でたる旨發表したりと（倫敦電報）

○佛國新内閣成立す パンルーヴエ氏陸相兼任

パンルーヴエ氏の下に組織せられたる佛國新内閣は十二日左の如く閣員の決定就任を見たり（倫敦電報）

總理大臣兼陸軍大臣パンルーヴエ▲外務大臣リボー▲海軍大臣ヨーメ▲大藏大臣クロツク▲内務大臣ステーク▲補給大臣ロング▲兵站大臣ルークレー▲無任所國務大臣バルツー、ドーメ、ブールシヨア、テユアー四氏

○片山顧問官危篤

宮中顧問官（前内匠頭）從三位勳一等工學博士片山東熊氏は腎臟病の爲危篤に陷りたる旨　畏き邊りに於て聞召され　兩陛下より御菓子一折づゝ御見舞として御下賜ありたり（東京特電）

○安達公使一行消息

露都の形勢險惡なる爲め赴任の途に在りし新任白耳義公使安達峯一郎氏及び同夫人、長岡參事官、武富書記官の一行は十五日長春着後其の出發を見合せ暫時長春に滯在して形勢を觀望することに決したるが獨り河野騎兵大佐のみは一行と別れ單身十五日夜急行列車にて露都に向ひ出發したり（長春特電）

○東拓社債一千萬圓 十七日より一般に賣り出す

東洋拓殖會社にては今回社債一千萬圓を發行する事に決定し朝鮮銀行並に臺灣銀行の兩行にて之れを引受くべく十七日より内地朝鮮及び滿洲に在りて賣出すべし尚ほ右社債の發行による資金は今後東拓の鮮滿發展に伴ふ資金に充てらるべきものなり（東京特電）

○東郷中將通過

鎭海要港部司令官東郷中將は十六日朝釜山に來り内地より來れる夫人令孃一行を迎へ午前十時三十分鎭海へ向け歸任したり（釜山特電）

○古谷代議士來鮮 愛媛縣

代議士古谷久綱氏は十六日朝高麗丸にて釜山着、十六日午後十一時發木浦に赴き同地一泊の上十八日夜京城に着する筈なり（釜山特電）

○諸名士内地行

十五日釜山出帆内地行の連絡船にて工學博士笠井眞三、理學博士井田謙六、鎭海要港部軍醫大監光永常次郎氏及び平山釜山中學校長何れも内地に向ひたり（釜山特電）

○臺銀重役一行

臺灣銀行理事東京支店長山成喬六、同行本店支配人池田常吉、同行東京支店詰山瀨榮氏等の一行は十六日朝高麗丸にて釜山著、午前十時三十分發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

○東拓奉天支店長

東拓奉天支店長に新任の筈なる吉野小一郎氏は十六日朝高麗丸にて著午前十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◉德壽宮午餐會

十七日午後零時三十分より李太王殿下は德壽宮内石造殿に宴を張り殿下東上に際し諸般の斡旋を爲したる主なる人々に對する謝禮の爲め長谷川總督、宇佐美長官、古海總長、釜屋、高橋兩武官、藤波通譯官其他李王に扈從したる李王職の主なる官吏及び朝鮮貴族等三十名を請待し午餐會を開く筈なり十五日夕刊所載の松川軍司令官を招宴すとありしは誤聞に付き訂正す

◉京畿稻作順調

京畿道管内稻作現況を聞くに早稻日の出の如きは既に近く刈込の域に進み其他獎勵品種たる石白、穀良都、早神力、王錦の如きは目下出穗盛りにして多少懸念せられし過般來の天候不良も差したる悪影響を與ふるに至らず今後の天候だに適順なるを得ば相當の豐作は疑なく浮塵子の如きも振威郡に多少の發生を見たりしに止まり其他諸郡は一般に害蟲の被害も無しと

◉穀商大會 第二回

朝鮮穀物貿易商大會の第二日は十六日午前九時四十分前日に引續いて商業會議所に開會人見鐵道局長、青木農務課長、生田商工課長、足立東拓殖産課長、阿部鮮銀營業局長臨席す高野議長より開會の挨拶をなし奥田前會長より會務報告あり右終りて高野議長議事に入る旨を宣し且つ其の議事の順序は前回に於て宿題とせしものを先にするか若くば今回提案の議案を先づ議すべきかに付議場に諮りたる所結局新提案を先とすべしと云ふに一致す此時慶北の安松熊吉氏より慶北の提案たる第三項及び四項乃ち『驛貨車乘に關する事』『地主に對し籾の改良桝及び斤量を一定せしむる事』は不備の點あり撤回すとの申出あり、直ちに議事に入りしが京城竹中多計吉氏は起つて其の提案に係る『大豆及び雜穀取引を斤建制とする事』に就き北海道滿洲大豆の取引が從量制なる事並に内地との取引は斤建に依る方利便なる事其他に付き說明あり右に對し釜山の井谷儀三郎氏は大豆斤建の取引は尙早なるも小麥と籾は斤建として可なりと主張し慶北安松熊吉氏亦大豆調製の不完全より尙早論を唱へ鎭南浦の新井新藏氏も包裝の最目不同及び並に調製上の不完全より又仁川奥田眞二郎氏は商習慣より主義としては斤建制に何等異議を挾む餘地なきも目下の所期時尙早なりとの意見出で結局高野議長は『大豆の取引は主義としては斤建制を可とす但し其實行は大豆檢査規則の成果を相當期間注視せし上の事とす』事又『小麥と籾は斤建制取引を可とす尙ほ小麥及び籾檢査規則の發布を其筋に申請する事』と修正し滿場異議なく可決次で高野氏の紹介により鮮銀營業局長阿部秀太郎氏登壇

▲阿部鮮銀局長演説

先づ朝鮮農産の發達並に朝鮮財界の膨脹を略述し諸物價騰貴の傾向と銀行券増發の關係、及び近來物價の變動著しきため平準を得られず金融業者としては常に警戒を怠る能はざるが穀類貿易商諸君も常に思惑に走らず堅實に商取引あらんことを希望し更に穀類買込先と買込人間に往々存在する德義心の缺乏を指摘し其の取引上に起る杆格は概ね之れがためなれば在鮮貿易者は先づ自ら正しくして内地の取引者に及ぼすべしと論じ其の實行上に付穀類貿易商大會の如きは時々會合的のものとせず恒久的に組織し事務所を設置き不誠義の者には相當制裁を加ふる事とせば如何との所感を述べ次で阪神等に於ける穀類の荷揚場所を住友倉庫と云ふ如く限定的に指示する方有利なる事、荷物發送の際保險を掛陸後二十日間位附し置く事、手形取組上の注意等を述べ終りに露國に於ける鮮米の需要を說き其の將來を樂觀し又目下の日露爲替禁止狀態に對し鮮銀にて漸く爲替取組可能の途を附し得べきやうなりたる事、（但し實行は未だなし）鮮銀實行の無手數料振替送金制の利用に就て縷々陳述して降壇

十一時五十分、再び議事に入り京城の竹中氏は其の提案たる『鐵道倉庫の增設を爲し且つ各驛を通じて野積保管の途を設くることゝし運送力不足の場合は發送預り受託順次を以て貨物發送を爲すことを鐵道當局に申請すること』に付說明をなし之に對し仁川大邱釜山江景各委員より贊成修正說頻出せしが結局第二項議案は三段に區分する事となり而して（イ）鐵道倉庫の增設を鐵道當局に請願する事は即決せしも（ロ）各驛を通じて野積み保管の途を設くる事（ハ）運送力不足の場合は發送預り受託順次を以て貨物の發送をなす事の二項の鐵道當局に請願する事は結局其の議決を十七日迄延引する事となり議案第三項の『釜山下の關連絡船役に手鍵使用禁止の事』を當局に申請『云々は『釜山下の關連絡並に各驛の云々』と修正可決十二時三十分午餐のため休會一時三十分より會議續行の事となれり（以下朝刊）

◉社債協議

東拓社債一千萬圓の發行を鮮銀臺銀の兩行にて引受け賣出しの事決定に就ては東電の報ずる如くなるが十六日午後二時より鮮銀の大田理事阿部營業局長は東拓の松平理事等と某所に會同諸種協議を凝せり

◉岡本參謀長歸任期

目下北鮮各部隊狀況視察並に地理實査の爲め出張中なる第十九師團參謀長岡本騎兵大佐一行は來る十八九日頃羅南驛著歸任の筈なりと

◉趙子爵歸京

趙重應子は病氣療養の爲め轉地中の處十五日午後九時南大門著列車にて歸京せり

◉朝鮮藥學會大會

朝鮮藥學會第五回大會は來る二十三日午後一時より京城商業會議所に於て開催の筈にて庶務會計報告に次で役員の選擧を行ひそれより同六時迄有志の講演あり七時より旭町白水に於て懇親會を催す由尙當日は各道警務部衞生技術官全部出席す可し

◉兩問題期成會

當地有志は去る十三日午後一時より商業會議所内に會し協議の結果日本海横斷航路及び平元鐵道速成問題期成同盟會を設立することとなり創立委員として石川（朝郵）波瀨（水電）河合（鮮銀）及川（商議）丸田（元每）の五氏を選任して一先づ解散せるが翌十四日は更らに該委員等會合の上會則案の作成、會員勸誘の方法並に兩問題關係各地聯合會に關する日程等に就き協議を爲したり之より先き有志より關係各地に出席方照會の結果本日迄に出席方通知に接したるは京城府小島餘四三氏、舞鶴神谷卓男氏、平壤大橋恒藏、川上淨助兩氏、鎭南浦馬場嘉藏、堀貞吉兩氏等にして敦賀よりは未だ出席の有無を通知し來らざる由

▲關係各地聯合會

前記平元鐵道並に横斷航路問題に關する關係各地聯合會は愈々十八日午後一時當地商業會議所内に於て開催することに決したるが同日は兩問題に對する各關係地の態度を決する外夫々當局者に請願書を提出する筈なり（元山）

◉晉州の軍司令官

十一日午後一時著晉の豫定なりし松川司令官は降雨の爲め豫定より遲れ午後六時著、望月旅館に投宿十二日午前八時より守備隊の巡視をなし午後一時自動車にて馬山に向ひ出發せり送迎共に盛んなりし

◉仁川短信

▲仁川商校修學旅行　仁川商業學校三年生三十四名は杉浦吉川兩敎諭引率の下に十五日午前七時發列車にて修學の途に就きたるが見學地は京城、平壤、鎭南浦、兼二浦等にて十八日歸校の豫定なり▲永化學校記念式　仁川永化學校にては十五日午前十時より創立二十五週年記念式を擧行したり

◉鳥致院

▲穀物商大會出席者　來る十五日十六日の兩日に亘り京城に於て開催の筈なる全鮮第二回穀物大會出席の爲め鳥致院より同業者太郎辻川嘉助、福永永太郎、田中爲平、横山庄作及び吉川直藏の六氏十五日午前六時發急行列車にて入京の筈▲小學校の修學旅行　鳥致院尋常高等小學校尋常科四學年以上男女生徒四十三名及び職員三名計四十六名は京仁地方へ秋季修學旅行の目的を以て十四日午前六時發急行列車にて出發せり其の旅行日程は十四日永登浦驛にて京仁線に乘り換へ仁川を巡覽し同日夕入京南山町都旅館に投宿十五日は京城各所を見學し午後はスミス氏の飛行を見て同七時五十五分發南行にて出發十時四十五分歸著の筈

◉大邱

▲消防組放水試驗　大邱消防組に於ては今回水管車を新調したるを以て本月下旬錦町鐵道用地附近なる消火栓にて放水試驗を行ふべし▲大邱府秋季種痘　大邱府警察署は來十月一日より大邱府内に在住せる内鮮人に對し秋季種痘を施行する筈なりと▲松本二部長出張　慶北第二部長松本誠氏は財務狀況視察の爲め來る十八日より新寧、永川、慶州、迎日、盈德の各郡へ出張の筈▲中野支配人歸邱　朝鮮銀行大邱支店支配人中野滋氏は過般來上京中のところ十五日午後一時十八分大邱驛著列車にて歸邱したり

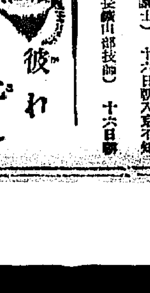
◉駐滿軍機動演習 鐵嶺又

鐵嶺及び奉天駐屯の現役隊並に全線守備六個大隊參加し來月初旬奉天附近に於て秋季機動演習を擧行すべく撫原鐵嶺旅團長營守備第六大隊長等は此の程奉天に來著演習地の實地調査を遂げたりと（奉天）

人事消息

▲辻通氏（醫學士）　十五日入京不知火へ
▲片山昇氏（醫學士）　同上巴城館へ
▲仁川普通學校生徒一行百二十三人　十五日午後歸仁
▲梨花學堂女學生三十八名　十五日午後水原より入京
▲鳥致院小學校職員生徒一行四十四名　十五日午後歸鳥
▲兵器務官　十五日永登浦より歸京
▲東拓太田出張所長　十五日午後安東より入京
▲仁川商業學校生徒三十六名　十五日午後鎭南浦へ
▲香川東拓參事　十五日朝奉天へ
▲ゴルドン少將（米國陸軍）　一行十六日長崎へ
▲京城高等普通學校生徒二十名　十六日午前開城へ向け修學旅行
▲大橋恒藏氏（平壤商議會頭）　十六日朝入京不知火旅館投宿十七日朝發元山へ
▲桑原伊十郎氏（前代議士）　十六日朝入京不知火旅館へ
▲池田久一郎氏（伊藤長藏山部技師）　十六日朝過京

彼れ此れ



○コルニロフ將軍は、四箇師團を率ゐ、ケレンスキー首相は十二箇聯隊を指揮し、鐵火將に相見ねんとするや、コ將軍の投降捕縛の報あり、更らに突如として、ケ首相の暗殺飛報來る。洵に端倪すべからざるは、露國の現狀也。飛報短信にして、却て其の眞否を知るを得ず。唯觀く首して後報の到るを俟つのみ。

○安徽の怪傑、蚌埠の梟雄倪嗣冲君、旬日の間、令弟倪毓芬と、愛婿李良臣を喪ひ、意氣銷沈し、加ふるに赤痢に冒されて、衰弱甚しく、遂に安徽督軍、兼長江巡閱使を辭せんとす。彼れ亦官職を放擲すれば、一箇の好々爺のみ。張勳寧ろ遙かに痛快。

○帝國議會の『議事堂新築』は可也。浴場迄も設備せらるゝとは洵に勿體無き事に非ずや。さらでだに日比谷原頭、蛙鳴蟬噪の余稍もすれば、下院の議場若し一風呂浴びて元氣を快復し、再び壇上に起つて、滔々懸河の辯を振はれなば、恐人の外なかるべく。若し夫れ酒豪の連中が、湯上りの一杯機嫌にて、長虹を吐かば、更らに一層の妙あるべきも、我國民は、恐らく慨に堪へざる也。

奉恩寺　釋宗演

飛錫飄然來日東。入門先覺總情空。點塵不著秋聲裡。一路淸幽從是通。

題也足軒聖

蝸居安樂勝朱門。獅子巖頭也足軒。迦無佛亦無佛。許君自稱布衣尊。

□一寸永興まで（三）　李光洙

京元線車中にて

◇東豆川へ著いた。綺麗な川だ。驛から東南に當りて居るのが逍遙山で其の東側の陰の所に自在庵と云ふ小さな御寺があるさうだ。此の邊は小金剛と云はれる位で山容水色却々美くしい。餘り高くもない峯や山脈がくね入り亂れこんがらがつて、押し合ひへしあつて無數の複雜な谷をなして居り其谷には必ず一個の溪川がちよろちよろと流れて居る。溪川の水は澄み切つて居つて如何にも冷たい感じを與へた。爭はれぬ秋の氣である。逍遙山は確かに一遊に値する。來て見たら誰でも意外の感に打たれるに相違ない。來て見て後は必らず誰でもあゝ來て好かつたと滿足するだらうと思ふ。

◇此の邊から汽車は段々上りになつて谿谷の間を溪流を溯つて喘いて行く。如何にも幽邃な變化に富んだ景氣だ。其の谿谷を通り拔けると全谷平野が眼の前に開ける。誰でも始め平野と思ふであらうが併し其れは平野ではない高原なのだ。磽确な野原一面名も知れない黄色い花に覆はれて居つて所々に眞白な蕎麥の花が咲いて居り又所々火山岩の塊り散らされてあるのが見られる。稍一杯延びて一尺に足らざる高原的の草は一霜降られた樣にもう薄く黄ばんで居る。何んとはなしに淋しい秋の感じを與へた。黄ばんだ草、黄色い花、眞白な蕎麥の花如何にも高原的の秋の氣分を與へるではないか。一寸云ひ足して置くが全谷驛には木材が堆高く積まれてあつた。多分京城邊へ持つて行くのだらう。

◇此からは人口頗る稀薄で殆ど村落なるものを見ない。進めば進む程山國的高原的となつて溫度さへも段々低くなる樣に思はれた。◇全谷の平野を過ぎると又先の樣な峽谷に這入る。淸らかな溪川と隱れんぼをする樣に汽車は複雜な曲線を畫いて稍先上りに喘いで往く。檜だの山葡萄だの深山的植物がちよい〳〵見え出した。此奴は面白い、思ひ掛けもない深山的氣分が味へるわいと一人喜んだ。此の峽谷を通り越すと鐵原の平野が見はれる、毋論全谷よりも海拔何百尺も上の高原だ。綠の黄色な花は愈々多く眞白な蕎麥の花も愈々多い。そして全谷邊では餘り見なかつた開きかけの萩の花かなすゝきが見え出して、溫度は益々下つて往く。其だけ餘計高原的になつたのであらう。四方鐵原の連山に圍れて眞中に楕圓形の平原がある。平原とは云ふもの丶普通我々が云つて居るものとは違つて、鈍い波狀を呈した幾多の丘陵があつて何んだかうねりの偉大な海を眺める樣な氣がする。そして河は數丈も深い所を流れて居つてそして水道が狹くて深くて運河か何んかの樣である。斯かる平原が羊毛の樣な軟かい丈の低い草や蘚苔の樣な黄色い細かい花や、荒らしい程眞白な蕎麥の花や、如何にも夢幻的な花すゝきや虫に喰はれた樣な鑛滓の樣な火山岩に覆はれて飾られて横はつて居ると想像し給へ。而も何處を見ても人家は見ねず、大部分は開闢以來人間の手の付いたことのない土地と想像し給へ。其が京元線に沿ふた高原の特色で此んなものが凡そ四個ある。即ち全谷、鐵原、劍拂浪、其れから安邊だ。

暗殺說傳へらるゝ露國首相ケレンスキー氏

飛行船來襲も噂程でない

砂糖に乏しい英國の此頃＝飛行船の攻擊方法を案出して廿萬圓の賞金を得た十六歳の少年＝朝鮮は世界一の樂園

「只今の處では朝鮮が世界で一番豐かな、平和な國ですよ」と冒頭して、つい先日倫敦から歸つた在京城英國聖書會社のボスヴイツタ氏は語る、英國はもう

■恐怖戰爭の氣分■ になつてゐます、曾ては常備兵が十五萬人位より無くて徴兵制度に極力反對した英國が今は六百萬からの兵を擧げて聯合軍の中堅になつて居る、而や諸方に立派な職に就いてゐる青年が志願兵として續々歸國する事なぞは暫く措き、此頃は倫敦の何處を通つてみても戰爭の氣分が溢れて人が皆狂熱になり女は出征した男に代つて種々の勞役に就くと共に市中の大きな建物は續々病院に代用せられ、

■市を歩いてゐる青年■ で頭や手足に名譽の負傷をしてゐない者は殆んど有りません、しかし彼等は此戰爭を以て徒らに他國を攻擊し侵略するものとは信じない、吾が祖國を防禦するのであるとの信念を以て喜んで戰に赴いてゐる次第であります。食糧が大分窮迫して參りましたのは事實です、しかし何も食糧の全體が乏しくなつたのでは無くして

■小麥と砂糖とが■ 足りないといふ事なので、小麥が足りないから此頃の麵麭は從前のやうな純白なものでなく薄黑い不味いものになりました、それは玉蜀黍の粉や何かを混せる事になつたからです、尤も味は惡く見付も惡くなつたが滋養分に變りはありません、砂糖は大分缺乏して此頃は一週間一斤につき半磅といふ事に制限されて居ります 私は英國に滯在中妻の實家に居りましたが此家は家族が十二人です

■十二人で一週間半磅■ これには大分不自由しました 小麥と砂糖の外は値段こそ少々高くなつては居りますが別段不自由はありません、朝鮮でも此頃品物が高く成り砂糖も騰つたやうですが英國から來てみるとなあに宛然樂園ですよ 獨逸飛行船の襲擊も滯在中度々有りました、そう〳〵飛行船の攻擊方法を案出したのはダグリン市の、ある料理學校にゐる今年十六の少年ですよ、名は生憎忘れましたがね、何しろ、ツエツペリン飛行船といふ奴は、左樣

■朝鮮銀行の十倍■ もあるやうな尨大なものです、攻擊に向ふ飛行機の方は十間とはない小なものですから一寸角力になりません、そこで此少年は考へて鐵砲の彈丸を硝子で拵らへ中へ一種の火藥を包んだのです、火藥は馬脂に粘くして鷄のやうに附著くもので飛行船が來たと云ふ警報がある、飛行機が出かけて鐵砲を發つ彈が飛出して飛行船に中ると硝子だから壞れます、壞れると中から火藥が出てそこへ附著く

■そら鷄のやうだから べつたり附著いて拂つても拭いても取れる事ではない、その中にその火藥が燃出して飛行船を燒落して仕舞ふといふ仕組です、この考は實に妙案で、もう之で何艘か飛行船を燒落しました、政府は此發明に對して此少年に二十萬圓の賞を與へたそうです、私が朝鮮へ歸途船で來る事にしたのを聞いて或友人が、危いぢや無いか敵の潜航艇に逃つたら如何すると言ひますから

■何危ないのは陸上■ だつて同じ事だ、頭の上へ敵の飛行船が來たら如何すると言つてやつたので、大笑でした、しかし實の所爲力とも噂程のものでもありません、左樣、飛行船が光彈を落す所は綺麗で流星のやうです、尤も落されてはたまりませんがね。

露國首相の暗殺說

ストツクホルム發電に曰く、露國內閣總理大臣ケレンスキー氏は反對派の爲め暗殺されたるものゝ如し（東京電報）

仁政殿の午餐會

新任松川軍司令官の爲めに＝陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の大官を請待せらる

昌德宮李王殿下には十六日午後零時三十分より同宮內仁政殿に於て新任松川軍司令官の爲め張宴し長谷川總督以下各將軍其他の大官を陪賓として請待せり

◁午十二時 五十分に至り釜居、高橋兩武官、次で古海總長次ぎに立花第十九師團長は古城副官を從へ次で本日の正賓松川朝鮮駐箚軍司令官は野津副官を從へ以上何れも馬車にて參集し零時十分に至り長谷川總督は自動車にて大島副官次の自動車にて遠藤、神田兩秘書官、藤波通譯官等を隨へ次に市川軍參謀長佐藤軍醫部長は馬車にて何れも

▼相前後して 敦化門より入り李王職員の案內にて仁政殿內設けの休憩所に入りたり朝鮮側及び李王職にて此の日招待せられたるは李完用伯、趙東潤男其他の朝鮮將校李王職長官次官等にて凡て卅二名定刻午後零時卅分一同仁政殿大廣間に

▽善美を盡し たる食堂に就き李王殿下、李堈公殿下著席松川軍司令官の爲め乾盃し主客歡を盡して閉會し此の間李王職洋樂隊は絶えず奏樂せり

主謀者五名斬刑に處せらる

破獄事件後聞

十二日奉天第一監獄にて破獄を企てたる事件に關し其後聞く處に據れば主謀者は十一日同監獄に於て死刑を宣告されたる高王峰、張鴻、孫、吳、陶等五名の者にて高王峰、張鴻が之れが主魁にて

▲張は十數年前 實兒の仇討を爲したる爲め倒乗十數年間奉天監獄に服役し判決の都度不服を稱へ過般大理院に上告したる處却下され遂に去る十一日死刑の宣告を受けたるが張は深く之を恨み同じく死刑の宣告を受けたる高王峰外四名の者と謀合はせ大膽にも即日夜半に於て破獄を爲さんと打合せをなし居たり同夜は機を得ざりし處翌日午前中五名の者は工場に在て服役中高王峰は看守人との間に爭論を始めたるより五名は共同して看守人の帶劍を奪ひ殺さんとし

▲看守人に一擊を加ふると共に各自の足枷を交互に離脫し合ひ附近に在りし看守人の銃器彈丸を奪取して茲に他囚一同に向つて吾等と共同動作を取らざれば悉く射殺す可き旨を告げたれば遂に多數囚徒は之れに雷同するに到れり李典獄は此旨督軍公署、憲兵隊、警察等に急報したれば憲兵隊長王錦秋氏は一隊を率ゐて急行したるも賊は二階の隙間より盛んに發砲し居れるを以て遂かに突入する能はずして逡巡せる際一人は遂に賊丸に命中するに到れり時に檢察廳長梁炎生氏は囚徒に對して已に軍隊

▲出動して包圍 し居れば汝等平靜に歸せざれば機關銃の一齊射擊を行ひ鏖殺しにさる可き旨を諭したるも就縛せず盛んに交戰して約二時間後彈丸盡きて遂に軍隊の手に捕縛されたり而して主謀者五名は同夕頃督獄署西南廣場に於て斬刑に處せられたるが他に多くの負傷者等は無かりし由（奉天）

佩劍を奪つて憲兵を斬る

兇賊は十二年

開城北本町生れの李奎煥（二六）は四月二十三日知己なる朴善、金弘植と共に開城郡上道面楓川里飲食店金與瑞方にて飲酒中通り蒐りたる開城憲兵分隊豐德派遣所詰の上等兵小山乙市が取調への爲め三名に派遣所迄同行を求め共に十町許り進みたる頃同面齊陵里の山麓にて先づ弘植は逃亡したるより朴善及び奎煥の兩名は俄かに小山上等兵に組みつき格鬪中上等兵の佩劍を拔きて滅多斬りに斬りつけ二十餘箇所に重輕傷を負はせ治療一箇月を要する傷害を與へたる後兩名共逃亡し奎煥は同日夕刻上道面大陵里にて通行中の開城北本町の林漢豐を擇りて三圓五十錢を强奪し尚外一箇所にて同樣强盜を働きたる一件は此の程京城地方法院にて懲役十二年の處分となれり

路上に紙幣の花

十六日午前十時頃京城本町警察署前の電車線路附近に紙幣六十二圓が散亂し居るを通りかゝりたる黃金町四丁目の岩尾節三が拾得して本町署に屆出でしが右は朝鮮ホテル內清水恭一の遺失したるものと判明したり

死刑囚の控訴

忠南牙山郡靈仁面白石浦里尹大鉉（二〇）は朴致文と共謀し大正五年十月十四日天安市場より歸宅中なる燕岐郡全義面新井里李德李を捕へ所持金を强奪せんとしたる際德李が汝等の顏を見知り置きあるを以て後日に金は取り還すこともあるべしと言ひたるより寧ろ同人を殺害して强奪せんと致文は小刀を以て德李に數箇所斬りつけて遂に殺害し兩名にて所持金四十二圓七十錢を强奪逃走したるが大鉉のみは遂に逮捕され公州地方法院にて死刑の判決を受けしを不服とし京城覆審法院に控訴申立てたり

撥軍に公認の木票

本町署の新しい取締法

京城市中には常に多數の撥軍徘徊し交通上の妨害を爲し或は不當の賃金を要求する事あるより之を制限する爲本町警察署にては管內を五區に分割し之れに十八箇所の溜り場を設け一區毎に取締補助者を置き全部を總括する一名の取締りを置き各撥軍に對しては警察署より公認したる木票を交付して携帶せしめ各此所に於て休憩し他より作業の申込を受けて初めて道路に出でしめる事とし十八日より試驗的に實施する筈なるが相當の成績を得ば更に正式に施行するに至るべし

讀者文藝（一句に五十錢の商品券を呈す）

△川柳▲選

■一等なし

▲子寶は石に箔にも入れられず　深川　新參生

▲一わたり見倒して出る質使　龍山　高麗子

▲質物の流れた噂に金が出來　利川　ふの字

▲入質は物見へ出るが最後なり　保寧　青々園

■募集規定及び課題例外により

無錢遊興

慶南統營郡外浦面外浦里生れの無職朴永先（二五）慶北安東郡府內面東部洞生れの鑛夫金炳元（二一）の兩名は八月二十九日夜京城笠井町貸座敷金相淳方にて二圓二十錢の遊興をなしたるも所持金なく樓主に告訴されて本町署に引致さる

嬰兒殺し三年

忠北沃川郡青南面三南里表本洞（三五）は寡婦の身にて同里韓文鉉と關係して懷姙中大正六年舊正月二十二日朱秉[illegible]に嫁し舊四月十三日男兒を分娩したるより其の始末に困り韓文鉉と共謀して同月十八日夜嬰兒を絞殺して密葬したること發覺し表本洞は公州地方法院にて懲役三年の處分となる

灯とも頃

▲スミス君の飛行機は中央機關が日本の竹で出來てゐる▲竹を求める時にはかれこれ百廿圓に近き竿竹を集めたものだが却々眞直ぐなものが無かつたさうな▲逆轉する時のスミス君は腳にかけた質綱一つさへ微動を感じないといふ▲逆轉は先づ方向舵をぐつと下ると機首は眞逆さになつて一分間六十哩の速力に四十哩の地球の引力が加はる▲合せて百哩の速力であるとする刹那急に上げ舵をとると機は勢ひついてクルリと返る▲理屈は簡單だが實行はなか〳〵むづかしい▲スミスは此の次ぎには支那に行くとの評判である▲朝鮮には世界語のエスペラントをやる人が多いと聞いたが北の定州には鮮人の間になか〳〵盛ん▲同地には私立五山學校の金億といふ人が先生ださうな▲松茸に初茸にしめぢに郊外の清遊は益々趣き多し朝鮮は秋に限る

天氣　曇り一時晴れ

御禮廣告

今回龍山練兵場に於て飛行大會を開催致候處約貳拾萬人と云ふ多數の御來觀を辱ふし而かも何等の事故なく紛擾なく二回とも靜肅裡に巧妙なる各種の飛行技術を御觀覽に供し大成效を以て閉會を告けたるはスミス本人の滿足は申す迄もなく吾々主催者に於ても衷心より感謝に堪へさる處特に來賓中金品の御寄贈を辱ふしたる向も有之重ね〳〵感謝の至りに堪へす唯多人數の混雜と設備不行屆の爲め待遇上禮を欠きたる點も間々之れあり茲に其御詫びを乘ね謹て御禮申上候

大正六年九月十六日

京城通信社長　大垣丈夫

釜山日報社長　芥川正

心臟 脚氣 特効藥 ベリベチン

定價 十錢 卅錢 五十錢 各地特約店藥店にて販賣す

心臟諸症 脚氣諸症 水腫 息迫 動悸 其他

東京京橋南傳馬町三 星製藥株式會社

胸腹の痛に鎭痛藥 ホシコロダイン

胃腹中眩食吐 疝痛暑氣中傷

定價十錢▲廿錢▲各地特約店藥店にあり

東京京橋南傳馬町三 星製藥株式會社

月賦濟崩販賣總代理店主募集

今回當會社ハ日本商事社ヲ買收シ業務ノ擴張ヲナス

一、營業課目 金融、手形割引、有價證券賣買、貴金屬品ノ賣買
一、代理店ノ待遇 信用有ル人格ト歩合支給
一、資格 確實ナル保證ニ名又ハ特定供託金
一、保證 履歷書希望書送附又ハ面談
一、問合方法 神田區東松下町六番地

資本金五萬圓 日本豐盛株式會社 電話神田壹二五七番

秋の空氣は清澄で 虫干に適當

虫干後に 鍾馗印 是非必要

定價 大形金十二錢 中形金七錢 小形金三錢五厘 碁石形 大罐金五十錢 小罐金十錢 各地藥店に販賣せり

時計及蓄音器卸商 發堂創立明治二十八年 京城黃金町二丁目 喜多金光堂 電話一〇一五・替振京城七八

內科小兒科 入院隨意（普通病室並に隔離病室） 京城旭町一丁目 小林醫院 醫學士 小林千壽 電話六九二番

＝タカヂアスターゼ＝

高峰博士創製の本劑は從來北米及英國にて製造の品を販賣し來りたるも今回本邦に其工場を設け純國產品となれり

類似模造品を本劑と同一强度又は同一効力ありと稱し販賣するものあり注意を乞ふ

●本劑は粉末及錠劑の二種あり ●本會社發賣のタカヂアスターゼは總ての胃腸患者に賞用せらる殊に本邦人に最も多き澱粉消化不良症に起因する諸症に用ひて卓効を奏し從つて能く其榮養を增進す

東京室町 三共株式會社

資本金壹百萬圓

不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候

京城 株式會社 漢湖農工銀行 支配人 遠山熙

支店所在地（開城、春川、公州、清州、忠州、大田、江景、論山、鐵原、鳥致院）

普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

◉到る處日本人の温情に喜ぶ 鳥人母堂と語る

十五日龍山練兵場にて大飛行を試みたる鳥人スミス氏の母堂ナーエフ、スミス(五〇)と會見し內地巡遊中の感想談を聞く

日本の國情、日本人の性格等は裏に伜の歸米後明け暮れに語り盡せる爲め誠に喜ばしく是非に一度にても日本に參り風光の美を賞し觀光の慾を滿足させ度く其後神の導きに因り渡日することを得る段になりますと國情を異にし人種、宗教の同じからざる外國に參ることでありますれば自づと種々の杞憂が起りましたが扨て日本に參りまして日本の本土は勿論のこと北は北海道から南は九州の涯まで參り倫敦潤をも見物し此度朝鮮に參ることゝなりましたが何れの地に參りましても

◇日本人の温情に浴はしく第一に旅館のことが心配で構造起居の總りたる日本式の旅館に宿泊する

ことが出來るかどうか心配をして居りましたけれども之れも追々馴れて見ると左して不自由と思ふ感じも起らぬやうになり言語不通の親子が伴ふて旅行することでありますから通辯其他總ての世話役を要することゝ存じましたに之れも思ふ程になく如何な田舍に參りましても土地の人々が温かい同情を以て迎へられまして何の不自由も感じなく今日迄愉快に各地を旅行して來ました、今日では最初の杞憂は何處へ失せましたか頭なりました、米國人としての日本に對する隔意なき觀察談を各地に於て求められましたが之れは畢竟するに近年日米間に種々の問題を生じ殊に移民問題の如きは米國一般に渉りて日本の出稼者を排斥するとか拒絕する筈の譯ではなく

◇交通上の關係より桑港に日本人の多數が上陸し、而して最も近き出稼地たるカリホルニヤ地方に漸次日本の移民が入込み比較上低廉なる賃銀に甘んじて勞働に從事する爲めに同洲なり附近地方の勞働者が職業を奪はれ延いて中流社會に迄其影響を蒙むると云ふ結果になりましたから自衞上日本移民の禁止を企てたる次第で自分は此度日本に參り隈々まで巡遊して克く日本人の性格も了解致しましたから歸米の上は米國人が日本人を誤解せぬやう充分盡力をする積りです日米人の意志融和を計ると云ふことは最も緊要であるから何れかに出發點を見出しいと在らゆる方面に眼を配つて種々の研究をして見ましたが兩國民の性情、文物制度の點に至るまで何等間隔を生ずるが如き暗流の通ずることもありませぬ樣だしそれであるから

◇互ひに相提携して進まればならぬ皆なるに、斯くも互ひに調和の念を挾むことは是れは全く基督教に基く博愛の點に歸著して居ることでないかと思はる

◉殘念ながら釜山まで 堀尾大僧正談

今回來鮮せる淨土宗大本山增上寺貫主大僧正堀尾貫務老師を記者は十四日午後同師の駐錫せる釜山淨土宗智恩寺に訪ふ同老師は午後の勤修を終へたる許り同寺本堂西脇に新築せる木の香高き客室に緋の法衣を纏ひ金襴の輪袈裟を垂れ正坐せる其風貌嘗々として一見斯くも頹齡なりとは思はれず侍僧の語る處に依れば同老師は東京發足以來長途の汽車中も寸毫も座を亂さず其嚴正なる態度には隨行の諸僧も席に堪へざりしが殊に連絡船中に在りても法衣を脫せず椅子に寄りて體を崩さず同船員をして其嚴肅なる態度に驚嘆せしめたり釜山には十九年前同寺入佛式の際導師として田中智海師を隨へ來りしに今回來鮮に就きても又々田中師が隨行し來りしは奇偶なりと語れり堀尾老師は明晰なる語調を以て語りて曰く「折角來鮮せしに付き京城其他の各地も巡錫したしと思へども東京出發の際に旅程を定め釜山の修行を終りて廿三日には下の關に向ひ直ちに佐賀に赴く可く確定し居れる爲め遺憾ながら此度は志望を遂ぐること能はざれ共何れ其內機會を得ば朝鮮を普く巡錫すべく考へ居れり來鮮の感想としては著早々なり今俄かに之れを語ると云ふ何等の觀察をも爲し居らず只老衲は彌陀の本願念佛の宣傳の爲めに參つた其彌陀は因位の昔法藏菩薩と申上げし時あらゆる修行を成就し給ひ阿彌陀と云ふ佛になられたば一切衆生が其の佛の名號南無阿彌陀佛を唱ふれば成佛するのである先づ右樣の次第であると語れり(釜山)

渚の砂

◉養子の血刀 美作勝田郡勝間田村寺本つるの(二〇)の內緣の夫篠田常四郎(二四)はつるのが他に情夫を拵らへ母よしの(六〇)と共に辛く當つたのを憤慨して七日小刀を以て兩人を殺傷し已れは三圓自殺を企てたが果さず逮捕された

◉呆れた女房 吳市弓町吉山きみ(二五)は亭主が友人の妻から寢取られたので反對に其の主亭を丸め込み是れで對等だと澄ましてゐる

◉盲目の慘劇 東京淺草三間町西澤彌太郎(四一)といふ盲目は妻小桜(四〇)の手で養はれてゐる內妻が半身不隨に陷つたので發狂して女房を絞殺し已れも自殺を企てたが果さない

◉惑れの二少女 群馬縣桐生新宿松町小內ちよ(一九)同所中島つね(一七)は足利郡で工女に雇はれ中主家の處務を苦にし二人相抱いて入水情死を遂げた

◉因果の情死 福井縣南條郡武生町佐々木久吉(二二)は東京神田平永町福山飴吉方に雇はれ中飴吉妻ふく(二八)と不義を結んだ末なので兩人共信越線篠井驛附近で身體を轢り合はせて汽車轢死を遂げた

◉簡易な香茸の作り方

これは屋敷などを持つて居られる方又は永く一定の所に住んで居られる方などで、物置などの

▽用意の ありなさる家では幾らでも試みられる簡易な香茸の作り方ですから何誰にもお誘め致しますまづ

▽第一に 出入の植木屋、百姓其他に御命じになつて、成るべく太い、左樣切口なれば一尺前後ののので長サ三尺位の栗、楢、椎、扶搖などの木の比較的古い丸太を求めますその

▽丸太は 皮を剝いたのでは駄目ですから、皮のついたのを取り寄せます、それを餘り濕地でない日蔭、物置の廂の下、(但し室內ではいけませぬ)などに置き

▽蘆又は 枯柴、炭俵などを以て覆ひ、秋の初めから毎日怠らず米の精汁をかけて置くと香茸が生じます、その

▽時節は 丁度栗の笑む頃ですから朝々の樂しみになります、尤も今年出なければ、來年は必ず生じますから米の

▽とぎ汁 は怠らぬやうにしなければなりませぬ、香茸は秋ばかりでなく、春も生じます生じた香茸は生ですからそれを吸ひ物にするなり、又は

▽陰干に するなりして召し上るのです、出盛りになると一本の丸木から三十四十位づゝ生じます、尤も丸太には限らず、右の種類の

▽根ッ子 でも宜しい、夫れなどはよく幹を切つた後などに、掘取て燃やして了ふものでからたやすく得られます、然し根ッ子となると

▽運搬に 不便ですから頼んでも嫌がりませう私の所では出入の下肥取りに頼んで栗の丸太を三本許り持つて來て貰ひ、それを久しく

▽圍つて 置きますが、香茸は何時までも出ます、又之れなれば移轉する時持ち運びも出來、至極輕便です要はその

▽丸太を 餘り乾燥させぬやう、と云つてグチャ〱に濡らされぬ樣、よく手入れをして置けば何所へ遣らうとも大丈夫です、簡易な香茸の造り方、是非試みて御覽なさい(某植物學者談)

おとぎばなし 猿と笛

ある山寺に一匹の猿を飼つてありました。その猿も外の猿のやうに人眞似の好きな猿でありました。

山寺には一人の小僧がをりましたその小僧は笛を吹くことが上手で、暇さへあればいつも笛を出して吹きました。小僧が笛を吹く時は、猿は珍しさうな顏をしながら聞いてをりました。

その小僧がある日、和尚さんのお使で、麓の村へ下つて行きました。笛は押入の中にしまつて置いて。

すると猿は笛を吹いて見たくなりました

「小僧さんの留守中に、おれも一つ吹いて見よう。きつと面白いに違ひない。」

と猿はそつと押入の襖を開けましたちやんと其處に笛は置いてありました。

「あるある、ちやんとあるある。」

と猿は直きにその笛を取り出して、小僧がいつも吹くやうに、指で笛の穴を押へたり開けたりして吹いて見ましたが、どうしても吹けません。ピーとも鳴りません。

猿は鳴らない笛を一生懸命に吹いてゐましたが暫くたつと、やつとピーと鳴るやうになりましたが、とても小僧が吹くやうに面白い曲など吹けさうにはありません。

「これはいけない。駄目だなアー」

と猿は笛を口から離して、じつと考へてをりましたが、

「きつとこれには、何か仕掛けがあるのに違ひないきつとさうだ〱。」

と思ひまして、その笛の穴から笛の中を覗いて見ましたが、別に仕掛がありさうにもありません。猿は首をひねりながら、

「をかしいな、何も仕掛けはなさうだ。をかしいな〱。」

と又二三度、笛の中を覗いて見ましたけれども、やはり笛の中には何の仕掛けもない樣子、猿はそれでも安心は出來ないで、

「よし〱庖刀で割つて見てやらう、さうだ〱。さうしたら仕掛けのあるなしは直きに分る」

と、かう思ひまして、臺所へ行つて庖刀を探して來まして、その庖刀で笛をパツと縱に割つてしまひました。

笛には何の仕掛けもありませんでした。猿はそれですつかり安心して

「仕掛けはない〱、何の仕掛けもないのによくまあ、あんなに面白く吹けることだ。とてもおれには吹けさうにもない、笛吹きはもう止めだ〱。」

とひとり言を言ひながら、二つに割つた笛を元通りに繼ぎ合せて置かうとしましたが、とてもさうはまゐりません。猿はびつくりして、

「しまつた〱。これは大變!直きに繼ぎ合せることが出來ると思つたら當てが違つた。これは、どうしたら好いかなアー」

と、まごついてゐるところへ、お使に行つた小僧が歸つてまゐりまして

「やあ、大事の笛を割つちやつたなひどい奴だ。畜生!」

と猿を捕へ、ポカ〱と續けて、七つ八つ、猿の頭に拳骨を喰はせましたとさ。(をはり)

土佐犬相撲

釜山に於ける二日目闘犬相撲勝負

東

○○ ○●●○●頑○●●○

大加外鬼朝敷雷花 王錦四
天勝好龍日 若 ツ
狗山 山山島 車我龍山車魁

西

●●●○○●○預●○○●

土王 梅琴綠錦日 金一淀
州の 立 本 のの
山森 川島山灘龍川花濱川勢

○印は勝 ●印は負

◉傳染病 京城南大門鐵道官舍黃金町よしわ(一七)は十四日赤痢西界洞三十三番地尹貴燮(七)は十四日ヂフテリアと診斷さる

◉救世軍の特別集會 十六日(日曜)夜八時半、永樂町二丁目救世軍京城小隊にては朝鮮人兵官ボーン少佐出席特別傳道集會あり

◉人氣如沸

京城キネマ界の人氣の焦點となれる大正館は昨日より上場の寫眞ご初日立錐の餘地もなく直に滿員を告げ大喝采大好評を博せり

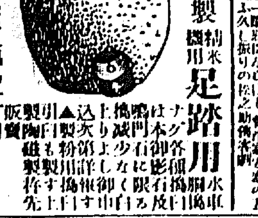
演藝案內

◉有樂館 東京小林商會派遣一行代辯師 米國ユニヴァーサル會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(局上)[illegible]番 ▲日曜、祭日 晝夜二回開演 ▲九月十四日より公開 ▲實寫 [illegible] △米國ユニヴァーサル社作 [illegible] △同 エルコー社作 [illegible] △同 ビッグユー社最近の大作大活劇「救ひの叫び」全二卷(松井說明) [illegible] ◉同國レッドフィーザー社作 正劇「惜然」 [illegible] ◉舊劇怪談「敗島物語」全四卷 [illegible] ◉[illegible]

黃金館 天然色活動寫眞株式會社京城常設館 電話二二六六三七 九月十五日全部差替 ○實寫ノールウェーの山岳 [illegible] ○西洋大活劇 [illegible] ○舊劇 佐野鹿十郎 [illegible] ○新派連鎖悲劇 [illegible] ▲大阪樂天地 [illegible]

壽館 京城本町 電話一〇五〇 九月十六日(日曜)午後六時より ▲旭翠會 第川九回 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 九月十五日より ◎新派悲劇「迷の夢」全四卷 [illegible]



精米用白搗 本御影石製 鳴門石製 精米機用 水車 足踏用 大阪市北區上福島一丁目 製臼元祖 砂川製臼所

登錄商標 直治水

タッタ十錢で眼病が癒る!!! スグに効力ある目藥……は

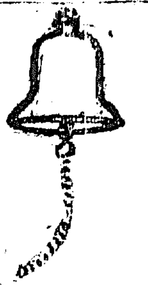
特長 直治水は眼科最新發見の高貴藥を配伍せる最良點眼藥にして裝瓶の際完全なる殺菌防腐を施したれば變敗の惧なく藥効は永く保ち屢々安心して使用し得らる。

外の眼藥で効なき人は試よ

主効 □トラホーム□やにめ□はやりめ□うみめ□かすみめ□めくさ 其他眼病諸症に偉効あり

新式點眼器付 拾錢 貳拾錢 全國各藥店ニアリ

本舖 大阪 東京 丹平商會藥房



何んと ベルが響く?

森永 ミルクキャラメル を

健康の友として 勉學の秋に入り給へ

6—80

頭痛神經衰弱 ヒステリー特効藥 エクレス

損は廿錢 利益は一生 迷はずにスグ試みよ

エクレスは高橋博士監督の下に數多の學士が今日、醫藥發賣元として、東洋第一の稱ある三共株式會社の最新藥を原料として研究に研究をかさね確實なる効能ありと認めて世に發表せしものなれば頭痛、頭重、眩暈、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、貧血、腦充血、等に不思議な程よくきく

定價(廿錢、五十錢、一圓[illegible]錢) 郵便(三圓の四圓あり)

東京日本橋區室町三丁目 泰昌製藥株式會社 振替口座東京二七五七七

資本金參百萬圓

明治三十八年設立

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通二丁目十四番地 株式會社 漢城銀行

頭取 男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 支配人 張弘植

電話 六四六番 二三九番 振替京城[illegible]番

支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門

出張所所在地 鍾路、東[illegible]

外科 皮膚科 瀬戶醫院 (診察夜九時迄)

京城旭町一丁目(南山下) 電話二四九八番

醫學士 瀬戶潔

汽車

左甚五郎

第二十九席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

大久保彦左衛門は言を繼で 彦『實に甚五郎と申す者は當代の名人でございます 家『ウム、左樣か、然てそれは何の枝ぢや 彦『私が短册を下げました枝でございます 家『案内いたせ 篤と一見いたすであらう 彦『入らせられまする樣に』と彦左衛門先に立つて櫻の木の下へ參り 彦『此の枝でございます 家『左樣か、取れるか 彦『拔けます 家『拔いて見イ 彦『ハッ 斯樣いたすと拔けます』と彦左衛門

手を掛けて引張つたが拔けない 彦『ハテナ、拔けさうなものだが』家『接木ではあるまい 彦『イエ確に接木に違いございません、當人を召して拔かして御覽遊ばせ 家『苦しうない其者を呼べ 彦『畏りました』と輕て彦左衛門幕の外へ出て參り 彦『コレ〳〵甚五郎此方へ參れ、其方は冥加な奴上樣お目通り仰付られる、有難く心得て後に尾いて參れ 甚『それは何うも有難い仕合にございまする』と彦左衛門の後に尾いてお庭に入つて來た 彦『一ツ拔いて見てくれ、俺が今遣つて見たが何うしても拔けない 甚『ヘエ、斯樣いたすと拔けます』と枝に手を掛けた甚五郎がスポリと拔てしまひ 甚『斯樣いたしまする』と元の通りにスポリ復元の幹へ嵌めて 甚『斯くの如くでございます』家光公御覽遊ばすと花に些少の損りも無い、其の樣子を見て手を拍つて御感心遊ばし 家『倍々此者は不思議な細工をいたす奴、名人であるの』と仰せられ御機嫌麗しく還御に相成りました、跡で大田彦左衛門が 彦『甚五郎、洵に何うも何とも禮の申さう樣も無い、身共一人では無い、外三人の女中の命も助かる、實に喜ばしいことだ、其上上樣御機嫌麗しく還御あらせられた後刻禮に罷出る 甚『何ういたしまして決してもう御心配には及びません御影樣で公方樣の前へ覗き者が罷出まして御言葉を頂くといふ冥加有難いことはございません結句私こそ旦那樣へお禮を申上ねばなりません、些少も功に誇りません其日は政右衛門と共に立歸りましたが其翌日彦左衛門より使ひで駿河臺の屋敷へ出ると、彦左衛門悉く甚五郎を賞め 彦『其方は日本一の名匠實に何うも感服いたした、洵に偉いものである是を遣はす』と種々の御褒美を頂きまして其日は立歸りました、倍々何うなさる政右衛門の宅に居りまする者が一人として甚五郎を粗末にいたす者はございません、棟梁の家では天下の名人が草鞋を脱いだ爲めに政右衛門も大仕合せ、實にあんな偉いものはないと頻りに賞讚して居る、政右衛門も親身の兄弟の樣に宜く世話をする爲に甚五郎も大層喜びまして心を盡して何かと働きます、思へば思はるゝで實に眞に兄弟同樣に暮して居りまする、總て政右衛門の爲には相談相手となつて心を盡して居りましたが、茲に本所一つ目の辨天樣の仕事を政右衛門が引受けまして多くの仕手方を仕事に掛けることになつたが、世話役の藤藏が始終多くの者に指圖をして居りまするが、愈々明日が建前といふことに相成りましたが、何うか天氣にしたいものだと神職も諸中世話人も心配をいたして居ります、實に建前を濟してしまうまでは心配なもので、大工棟梁頭達も當日を待つ、お宮では料理の獻立や何かもあります故、前日から支度にかゝつて居りまするが政右衛門は二三日前より甚く風を引いて困つて居ります、當日は是非行きたいと思つて居りましたが、病氣はいたし方のないもので頭が割れる樣に痛んで建前の場へ行き兼る、是を聞いて、世話役の藤藏が心配をして政右衛門の宅へ參りました

院長 醫學士 森定吉
內科 小兒科
京城本町三丁目 瓦斯會社向側
芙蓉醫院 電話二六三番

日本醬油株式會社出張所
登録商標 ヨほまれ味噌
電話二四五番

京城府明治町二ノ三三(元實業會社跡)
花柳病 皮膚病
須古醫院 電話二〇二番

九月十八日 九星
舊八月三日 癸亥
不命七赤 西 滿 佛滅

▲七赤● 見かけだほしの日 右目新事見合南方は吉 …●八白● 取引多き日 轉居開業入學を弘く求む …▲九紫● 押賣に … ▲一白● 欣快の日 … ●二黑● 利益增大の日 … ●三碧● 何となく氣の進まぬ日 … ▲四綠● 樹を植るは妨なし ▲五黃● 好運の日 … ▲六白● 快よき日 …

土藏あり保管安全
まちや
勸業貯蓄債券高價買入
明治町二丁目八十七番地
支那領事館前通
南質店

月やく なきにお困りの方は郵券三錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
京城貰金町三丁目 山田しづゑ

御化粧問答

【問】私は顏を剃るのが嫌ですから白粉が乘らないで困ります、何かお化粧法はありますまいか。(須磨、みちゑ)

【答】ムダ毛のある方は先づクラブ美身クリーム(又はクラブ美身ゼリー)をお化粧下としてお引きになつて、其上へクラブ固白粉をポットで押へ加減に刷付け、別の刷毛で浮いた粉を拂ひながら輕く撫で延ばし、搾りタオルで眉毛、睫毛などの粉を取りますと、瀟洒としたお化粧が出來上ります。

【問】私は顏に肉がなくて貧相に見えますので顏の豐滿した方を見ると羨ましく思ひますが、どうしたらアンナ肉付きになれるものでせうか。(函館、久子)

【答】天與は仕方がありませんが、併し齒が良くて滑な力の旺んな人は顏の肉付も良く、又た顏の形や色も良くなつて參ります。是は英國の醫學者ジョーン・パーネット氏の近著『皮膚の健康』にも出て居る事で、之に依つて見ますと、第一に齒を良くせられる事が肝要でございます。其上には、効力ある齒磨で朝さ就床の前に能く齒を磨き、尚ほ食後毎々にクラブ水齒磨で口中を清潔にし、齒の大敵たる酸の發生を防がねばなりません。此の目的の爲にはクラブ齒磨が第一で、クラブ齒磨は化學的に齒を強く美しくするのみならず、防腐、消炎、殺菌の力を具へて居りますから醫學者間にも理想の齒磨として推奨されて居ります。

【問】子供にお湯を使はす時、石鹸を厭がつて仕樣がありませんが、どうしたら宜しうございませう。(木浦、若き母)

【答】強い石鹸は皮膚を刺戟しますから、大人でも使はぬやうにしなければなりません。況して皮膚の感覺も組織も大人に比べれば極めてデリケートなお子供衆には石鹸は大禁物です。幸に石鹸よりも感じが柔かで而して石鹸以上の効果を具へて居るクラブ洗粉と云ふ重寶なものがありますから、石鹸は全然お止めになつた方が宜しいでせう。

御婦人一代のお化粧……の内

お嫁に行く迄

お化粧の順序

御婦人一生の大事たる結婚を前途に控へた令嬢方は、お化粧にも一層の御注意が肝要でございますが、東京でも大阪でも良家の令孃方のお化粧さいへば、淑女式お化粧法と定評ある左のお化粧法に殆んどきまつて居ります。即ち先づ

(第一に)舶來石鹸よりも牛乳よりも遙かに有効な日本名物クラブ洗粉で能く顏を洗ふ。

(第二に)皮膚の美を養ふクラブ美身ゼリーを襟から顏へかけて塗る。若し荒れ性の方ならば、一番よくきくアレ止め兼用の美身劑クラブ美身クリームを代りに用ひ、指先で能く擦込み、蒸タオルで輕く拭取る。

(第三に)一番高尚で美しい艶の出る

クラブ白粉

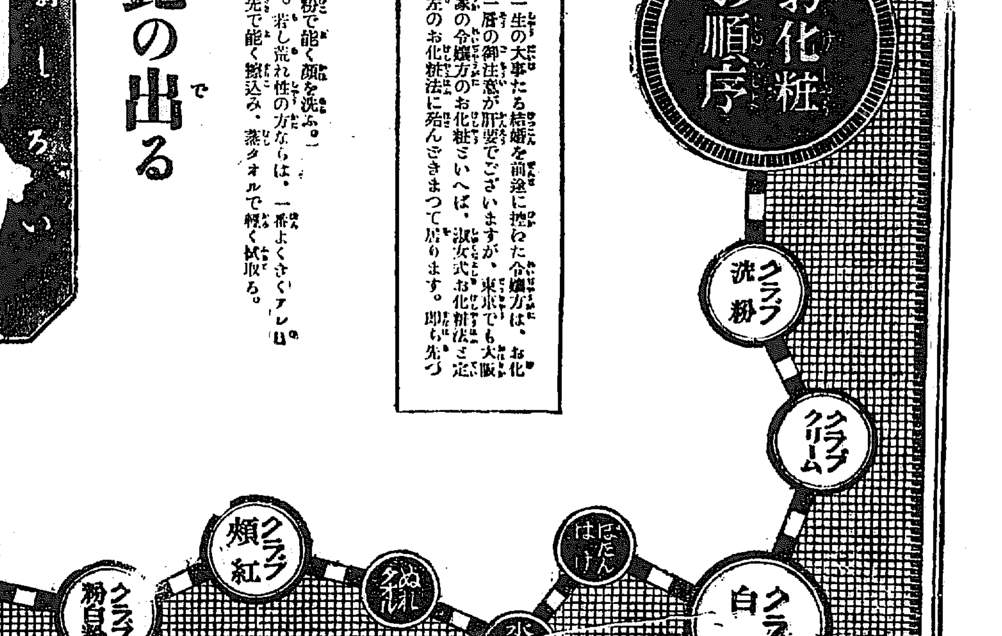
(生地まで白くなる)

を掌に取り、指先で能く煉つてつけ、(襟は顏よりも少し濃くする事)、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、濡タオルで押へて白粉を落付かせる。(薄化粧にはクラブ水白粉を御使用の事)。

(第四に)お顏にホンノリと櫻色の健康色を添へるクラブ頬紅を、目の下から頬へかけて薄く刷きつける。

(第五に)お化粧に一段の生彩を加へるクラブ粉白粉をセーム革につけて、顏に薄く打ち、襟はポットに粉白粉をつけて刷いた上を、セーム革で輕く打ちますと、高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上るのでございます。東京でも、大阪でも、中流以上の良家の奥樣やお孃樣のお化粧法は、大概右の方法にきまつて居ります。

クラブ白粉は
宮內省
皇后宮職
各宮家
御用品



京城日報
九月十七日
（夕刊と合せて八頁）

座右銘　釋宗演
（通俗講演會に於ける講演）

座右銘
一、早起未更衣靜坐一炷香
一、既著衣帶必禮神佛
一、眠不遲時食不至飽
一、接客如獨處獨處如接客
一、尋常不苟言一言則必行
一、臨機勿讓當事再思
一、勿妄想過去遠慮將來
一、負丈夫之氣抱小兒之心
一、就寢如盍棺離褥如脫屣

（一）

滿堂の諸君、衲は只今阿部無佛居士よりして御紹介下されました、釋宗演であります。今日は無門會並に京城日報の二つの主催で衲が此所に於て『道』に就いて一場のお話を爲る事に相成つた。御多忙の諸君が斯くも多數此の道場にお越し下された事は、衲の頗る歡びとする所であります。迚も諸君の御滿足を得る樣なお話は出來ますまいけれども、乍併是よりしてお話致す事は、些かなりとも自分に堅く信じ、且つ今日まで我身に行ひ來つた事柄なのでありますから、故に申述べる言葉は拙劣でありませうとも、衲の精神の存する所をお酌取り下されたならば、衲に於ては最も仕合せと思ふのであります。凡そ衲共の經驗に依れば『與へる』と『受ける』との二つの場合、語られぬ事柄でも或る者は善く之を受け、善く之を我身の爲めとするが、如何に善き事柄でも、受手が惡いと、良い結果を來さないものです。衲が是から些か道の話を致しますが、諸君が能く之を味はつて下されたならば多少なりとも諸君は自身を益する所があらうと思ふ。申述べる事柄は、或は砂を嚙む樣であるかも知れないが、凡そ寸金を獲んと欲せば、入用の無い砂や砂利と雖も捨て難い。どうか其の積りでお聽取りを願ひたい。故に『座右の銘』と云ふ樣なものを標榜してお話致すのでありますが、何分その我朝鮮と云ふ所は……殊に京城と云ふ所は、或る意味に於て人を虐待する所である。恁う言ふと甚だ無禮な樣でありますが、過日此の京城に足を踏込んで以來、只今迄何でも大變な優待……虐待かな……或る所では御馳走責めぢや、御馳走責めと云ふ奴は、或る場合には餘り有難くて、却て涙がこぼれる樣なこともある、酒嗜む人は酒で一つ油を絞つてやらうと云ふ考かも知れないが、衲には飲めない。詩を作る所に行けば、伏兵でも置いてある樣に、詩で一つ衲を試さうと云ふ風にも、思へないではないが、夫れも宜しいかも知れん。そんな譯で殆ど應接に遑あらずで、書きもせんならん。詩も作らんならんと云ふ樣なことで、猶々手紙の返事も認められない、實に忙しい。世の中が文明に進むに從つて非常に複雜多忙で冷靜に考へて見ると、朝から晩まで倉々として走り廻はつて居る。そこで衲が、諸君にお話するに付いては、充分に熟考して、此所がと云ふ所を申したいのであるが、奈何せん考を熟せしむる遑が無い。頭から閉口してお詫び許り爲て居る樣なやうか。もう廢しませうか（笑聲）扨て座右の銘と云ふ事に付いてお話しますが『座右の銘』は色々ある。吾々が古人の傳記を繙いて見ると、偉人と云はるゝ人は一兩必ず何等か家訓とか、一身上の座右の銘とか云ふものを持つて居る。そして其れを朝夕我身我心から放さずに居る樣に思はれる。或は單に箇條書きに成つて居るものもあり、或は文章に成つて居るものもある。衲は今日迄古人の座右の銘と云ふものを色々拜讀したけれども昔の人は……今でも左樣だらうが……平素己れの心に細心の注意を傾けて居る、其れだから其の座右の銘なるものも、實に徹底したるものである。そこになると衲の座右の銘抔は大方諸君の前に申述べるのは甚だ恥かしいのであります。元々之は衲が私かに拵へて見たんである。そして之を實地吾身に行ひ〳〵して先づざつと九箇條許りのものになつたのであるが、大言壯語して、之を吾身に行はぬとあつては、實に心中に恐れを抱く。併し此の座右の銘が、衲の許に來て『道』を學ぶ人達に其れとはなしに話したのが、終に公になつて了ひ、若い學生達に掴はれるまゝに段々之を明かす樣になつて、內緒で拵へたものを、人前に出て話すと云ふ具合で大分大膽になつて來た。甚だ不遜な樣ではあるが、衲の心では些かも不遜驕傲の意はありません。若し衲の申述べる事が諸君の中一人でも二人でも、其れは可い、俺も行つて居るが、何一層行つて見やうと云ふ人が出來たならば大變仕合せである。即ち何物かを與へると同時に亦た衲も何事か得たいと云ふ慾張つた考が出て來たのぢやが、扨て箇條書を入れて來たから一應讀んで見ませう。（此の時老師は朗々たる聲にて冒頭に掲げし句を讀上ぐ）之は唯漢字を陳べた丈けで、文章の體は成して居ません。ほんの箇條書に過ぎない。恁んな箇條を陳べて、之に蛇足を添へて講釋がましい事を申すと云ふは、智識ある諸君に對して甚だ失禮でありますけれども、自分の精神の存する所丈けを、此の箇條に付いて思起すに從つてお話して見たいと思ふのであります。

長江を憶ふ（三）
孤憤を大江に流さむ　中島生

早曉蹶起す。天倘開く、人界未だ覺めず。樹梢秋聲あり。床下蟲語雨の如し。燈下兀坐し、瞑目靜思す。想感雲の如く湧いて、心緒麻の如く亂る。何の快刀を以て、這の心中の亂麻を斷つべきや。

太平洋上の日本、東洋の日本、亞細亞の日本、世界の日本、神國日本の現在は奈何の狀ぞ。未來は如何の數奇ぞや。誰れか現在を判し、而して未來を占するものぞ。

日本は英國の番犬なるか。日本は隣邦の誘惑者なるか。日本は米國の仇敵なるか。合國の勢子なるか。日本は強國なるか。將た弱國なるか。日本は君主帝國なるか、將た民主國なるか。日本國民の思想は、何處に中心を有するか。天下は少壯國民の發露を容さゞるか。稽き革囊に古き酒を盛らざる可らざるか。感想雜然又紛々。然かも自ら解する能はざるものあり。何人の先覺に向つて、俯して教を乞ふべきや。

焦慮に堪へず。憮然たる久し。

吾人の憂憤、抑も何處にてか、之を擲はむ。芙蓉八朶の靈峰の頂なるか、白砂青松の東海の濱なるか——否。否。否。

長江萬里流る。收約小景莫しと雖、疎放大景、以て雄心を涵ふべし。以て壯志を育むべし。況んや、江上又江邊、白人勢力の瀰漫浸潤せるを目のあたりに見て、發憤に堪へざるものあるに於てをや。吾人の憂國を一擲し、憤懣を一洗するの處は、揚子江上に在り。山紫水明の、成金國の景觀、尺土に在らざる也。

九月初五、歷抜地理、到鎮南浦、宿於三和花園、園者富田儀作翁別業也。臨大同江口、無數島嶼在一望下、氣象萬千、景致佳絕、髣髴岳陽樓矣。翁在此地、勸農興業二十年、盡力於公共慈善之事、資産益增而德望愈加焉。近鄕官民敬翁如神、翁齡六十、白髮童顏、宛如田翁。

立花　晴洲

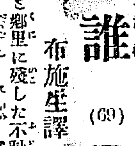
天○高○雁○影○瘦○如○葉○、秋○老○蘆○花○冷○似○霜○。自○適○悠○悠○二○十○年○、羨○君○閒○臥○水○雲○鄉○。

○

大○江○入○海○海○朧○虹○、氣○象○萬○千○朝○暮○中○。最○是○清○風○明○月○下○、低○吟○淺○酌○有○仙○翁○。

○

古○斷○長○江○萬○里○秋○、微○醺○倚○遍○夕○陽○樓○。廿○年○往○事○如○一○夢○、回○首○茫○茫○蘆○荻○洲○。



誰　布施生譯　（69）

金に窮ると郷里に殘した不動產を保管してゐる辯護士に手紙を書いて段々にそれを賣拂はせた、山林や畑が後から〳〵と利介の手を離れて今に殘つてゐる物とてはあの廣い邸一つになつて仕舞つた。利介は度々辯護士に手紙を出して邸を賣つてくれと迫つた、しかし零落れたとは言へ流石に大名屋敷の廣大なものである田舍で右から左にそれを買はうと云ふやうな大富豪は一寸見當らなかつた。邸は何時迄も賣れずに荒れたまゝで立つてゐた。利介の手許は日に〳〵苦しくなつた。お定まりの借倒しから始まつて仕舞には友人の間を寄食して歩いた。それも續かなくなつては仕方が無い、何か食ふだけの稼をしなければならぬ。そうなると正常な職には就く目的もなし詮方なしにいつか破落戶仲間に落込んで、顏が賣れてゐるのを幸色々の惡事をして廻つた。こうして諸方を流浪して廻り二十五年の後、或時不圖少々金子が手に入つたので利介は一度故鄉へ歸つてみる氣になり聊か身裝を調へて生出故鄉へ足を向けた。

二十五年の歲月は流石の田舍をも變らせた、利介は變つた村を見渡しながら今更に此處に住んでゐた若い時の事を憶出した、あの頃は自分が馬で此邊を通る毎に行會ふ人は皆畑から冠りを取つて頭を下げた、でなければ何か愛想を言つて挨拶して通つたものだ。今日は栗毛で此通り通つてみると一人も知つた顏は無い、行交ふ人はそれも之も怪訝な顏をして後姿を眺いて通る。利介はこうした感慨に耽りながら閭巷に今も變らず建つてゐる舊の召使の戎五の宅を訪れた。戎五の宅は座敷に應じて出てきた男は自分の馴染の無い顏であつた。利介は少し危みながら『戎五はどうした』と聞くと若い男は『はア、戎五は亡くなりました、もう五年になりますよ』『あゝ亡くなつたのか殘念な、己は鐵雄部の利介だが』『おまあ侯爵樣』と律氣な男は狼狽して、其處へ俯伏しながら『御主人樣でゐらせられますか、知らぬ事とは申しながら飛んだ御免下されませ、私めは戎五の息子の六太めでござります、あゝ親父が生きて居りましたらどんなに喜びましやうもの、しかし御安心遊ばして下されませ、私めが居りまする限り御不自由をおさせ申す事ではござりませぬ』直な此若者は主人が永い漂浪の旅から歸つて此舊領に落著くものと信じたらしい、彼はもう有頂天になつて『侯爵樣、殿樣、ほんによく御歸り下されました、それにまあ勿體ない私風情の宅へ、お足をお運び下されましてこんな難有い事はござりませぬ、これ、殿樣のお光來だ、早く來て御挨拶を申上げぬか』と女房や子供もお目通りをといふ騷で利介も此處は辛苦に挨拶して殿樣振を見せてゐた、舊領主の殿樣がお光來といふ噂は電光のやうに近所隣に播がつた。

『邸はどうなつてゐるかね』と暫時して利介が聞くと六太は幾度か頭を下げながら『へい〳〵あれは手前共がお預かり申して居りますが實は大破に及びまして、へい何分餘り大きくて手が届きかねますので、はい御殿にもなりまするにしても大門の外は誰も入りませぬ位でございます』言ひながら腰につけた巾着の中から大切に大門の鍵を出して舊主人の手に渡した。

雜誌抄

◇秀吉とサル（史傳文學）

秀吉の生れは『秀吉譜』に『天文六年丁酉二月生』としてあるが『太閤素生記』に『天文五年申の年の生れ』といふ方が本當らしい、而して『太閤素生記』の正月元日生れとあるのは單に目出度いといふ所から來たもので信を措くに足らぬ。又た秀吉の顏が猿に似てゐたから、サルといふ綽名があつたのではなく、當時尾張地方の習慣として申の歲に生れたのであるからサルといふ綽名があつたのであらう。其證據には前田利家の幼名をイヌと云つたのも戌の年に生れたからであるから考へれば秀吉のサルも申の歲生れであるからであらうと思ふ。

[illegible]始せり乘客は四名乃至八名にてストックホルム露都間を二十六時間乃至二十八時間を要すと（大阪特電）

[illegible]を迎へ大より滿洲視察に出張する筈なりと▲警務部長　南沿岸視察中の藤田警務部長は來る二十一[illegible]

[illegible]するを稱る事となり本月中大に屆出をなすべき筈なるが各郡共相當の屆出あり殊に地方は勿論大阪方面の代[illegible]

[illegible]の大陸方面に[illegible]したりしも支那方面に發生して朝鮮附近を通過せる低氣壓顯著なりしを以て天氣は前旬來引續き陰鬱にして連日鮮內に降雨を見ざることなかりしが七日高氣壓は支那方面に發達し漸次東移して朝鮮地方を掩ひしを[illegible]三〇度以上に昇れる所ありしも七日以來涼氣加はり日々の最低氣溫は南部を除くの外概ね一五度以下に降り殊に北部高原地方にありては一〇度以下に降れる所あり中江鎮の六・八度を本旬中各地の最低とす而して旬平均氣溫は南岸[illegible]

	（最高）	（最低）	雨量		
南浦	一〇八	五〇	四	二〇、[illegible]	二七、八
平壤	一〇九	五〇	六	二〇、七	二九、〇
京城	一七〇	四五	六	二三、〇	二九、六
仁川	一三四	五七	[illegible]	二二、九	二八、八
木浦	四一	五四	七	二五、一	三一、七

●安東縣通信▲[illegible]　本部管內巡查部長[illegible]以下十七名は[illegible]十三日午前八時五十分五龍背より來安森領事、永田探公理事長、中野民團議長以下官民各團體並に支那方面東邊道尹、縣知事巡防巡警等の各代表の出迎へを受け驛構上[illegible]
▲[illegible]上十五日[illegible]安東在鄉軍人會にては來る二十三日午前九時より六道溝守備隊射擊場にて秋季射擊大會を開催し優勝者には夫々賞品を授與し終つて懇親會に移り諸般の報告をなす筈なり

本紙定價　一部金二錢五厘　一ケ月金五十五錢郵税一ケ月金拾五錢
廣告料
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥田道[illegible]
印刷人　小川三之[illegible]
電話番號

現代は實業の世の中なり■

實業講習錄

■總裁　大隈侯爵　副總裁　澁澤男爵■

忙しい世の中では最も習ひ易く習へば直ぐに實地の役に立つ實業的學問をしなければ他人と競爭して勝利は得られぬ本講習錄は僅か一ケ年間で現代に最も必要なる學問を極めて分り易く面白く說明してある。先づ見本を見よ將來大發展の基礎たる實業の新知識悉く備はる

大附錄　書翰文習字
▲世間で毎日使はれて居る手紙の文例を集む
▲手紙を書く時の心得を文例と手本とで教ゆ
▲一々手本に依りて習ひつゝ實地の役に立つ

▲見本
▲申込次第無代進呈す……
▲講義の內容を示す……
▲入會の手續を示す……

大特典　只今入會者には
▲入會金免除　只今入會者に限る
▲水書草紙進呈　水で面白く書ける
▲書籍半額券進呈
▲獎學資金提供　一等三十圓、二等十五圓、三等五圓

最新最良の學科目
▲商業簿記　▲銀行簿記　▲商事要項　▲商業英語　▲商業作文　▲商業數學　▲珠算暗算　▲商業實務
▲商業地理　▲經濟講話　▲實業讀本　▲商品學　▲實業習字　▲實業歷史　▲處世法　▲科外講話

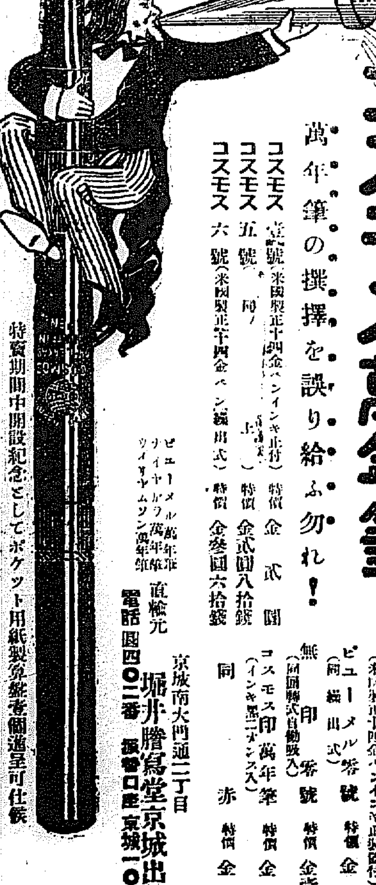
會費
▲一ケ月分五十錢　▲二ケ月分一圓　▲三ケ月分一圓四十五錢　▲六ケ月分二圓八十錢　▲一ケ年分五圓五十錢

實業の新知識ある者は必ず成功す■

何事にも躊躇する者は折角の好運を失ふ者なり、速に見本を求められよ、

東京市京橋區南紺屋町十二番地　實業之日本社內　帝國實業講習會
振替口座東京四〇一一六番・電話京橋九八九・六七八・五七五番

開設五周年紀念特賣
大正六年十月三十一日迄
前金又は代金引替の外送付せず



コスモス萬年筆

萬年筆の撰擇を誤り給ふ勿れ！

コスモス　壹號（米國製正十四金ペンインキ止付）　特價　金　貳　圓
コスモス　五號（同）　特價　金貳圓八拾錢
コスモス　六號（米國製正十四金ペン繰出式）　特價　金參圓六拾錢
ウイリアムソン零號（米國製正十四金ペンインキ止裝置付）　特價　金貳圓八拾錢
ビューメル零號（同繰出式）　特價　金　五　圓
無印零號（同回轉式自動吸入）　特價　金壹圓六拾錢
コスモス印萬年筆（インキ黑二オンス入）　特價　金　貳拾錢
同　赤　特價　金　四拾錢

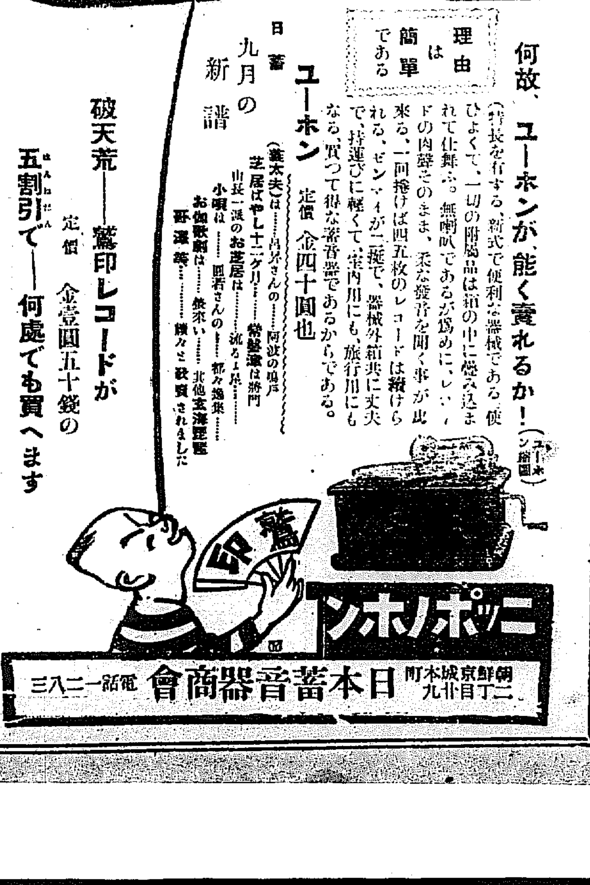
特賣期間中開設紀念としてポケット用紙製算盤壹個進呈可仕候

ビューメル萬年筆　ナイヤガラ萬年筆　ウイリアムソン萬年筆　直輸元
京城南大門通二丁目
堀井謄寫堂京城出張所
電話　四〇二番　振替口座　京城一〇五八番

玩具一式卸商　伊東商店　京城南大門市場　振替京城三四〇四番

最新刊
●支那鑛業條例　前川福太郎　六〇
●法理學大綱　穗積重遠　八〇
●親族法大意　同　八〇
●世界の變遷　鹿野千代槌　一、三〇
●大英國覇業論　田中龍一郎　一、〇〇
●人生と教育　稻毛詛風　一、五〇
●國民道德百解　富吉　一、三〇
●准名人關根金次郎著　將棋勝敗此の一手　定價六十錢
●繪入アンデルゼン御伽噺　二、二〇
●注文取の秘訣　清水正巳　八〇
●早く上手になるカナ式習字用三體手紙の文　三五
●繪入文庫　生花の卷　鹿山　一、〇〇
●情話友禪妾　水谷西紅　六〇

京城本町一丁目　電話六四〇・八〇六　振替京城二五七三番
大阪屋號書店



何故、ユーホンが、能く賣れるか！（ユーホン蓄音機）

理由は簡單である

（特長を有する、新式で便利な器械である。使ひよくて、一切の附屬品は箱の中に蔵み込まれて仕舞ふ。無喇叭であるが爲めに、レコードの內容そのまゝ、柔な發音を聞く事が出來る。一回捲けば四五枚のレコードは續けられる。ゼンマイが二挺で、器械外箱共に丈夫で、持運びに輕くて、室內用にも、旅行用にも、なる。買つて得な蓄音器であるからである。

ユーホン　定價　金四十圓也

日蓄　九月の新譜
（義太夫）は……呂昇さんの……阿波の鳴戶
芝居ばやし十二ケ月……常盤津は將門
山長一派のお芝居は……流るゝ星
小唄は……圓若さんの……都々逸集
お伽歌劇は……熊來い……北他支海匪賊
喜澤節……續々と發賣されました

破天荒——鷲印レコードが
定價　金壹圓五十錢の
五割引で——何處でも買へます

ニッポノホン
朝鮮京城本町二丁目九十　日本蓄音器商會　電話一二八三

露國內の騷亂

▲ケ首相暗殺說疑問
我外務省には何等の公報無し

ケレンスキー首相暗殺說に關し我外務當局は語りて曰く「ストックホルム來電は往々信ずべからざるものあり若し暗殺を事實とすれば露都來電の報疾くに來るべき筈なるに露都より未だ何等の報なく該暗殺說の根據につき疑はざるを得ず」と（東京特電）

▲ケ首相危機排除に努む

露國の形勢は混沌として逆睹すべからずケレンスキー首相は引續き盛んに將官の任免を行ひ以て內閣の危機を切り拔んとしつゝあるが要するに之が危機を招きし原因は主として重大なる食糧問題にあり（倫敦電報）

▲クリモフ將軍の自殺
自己の軍隊に降伏すべきを命じて

コルニロフ將軍を援助しつゝあるクリモフ將軍は自己の率ゆる軍隊に對し武器を棄て政府に降伏すべきを命じ後ち自身露都に赴きケレンスキー首相に面謁するや直に自宅に歸り拳銃を以て自殺を遂げたり（露都電報）

▲コルニロフ將軍計畫挫折

十六日北京に著せる露都來電に曰く、コルニロフ將軍の計畫は全く挫折し僞アレキシーフ將軍はケレンスキー首相の命を受けコルニロフ將軍より軍權の讓渡を受くべく大本營に向け露都を出發せりコルニロフ將軍に加擔せる將軍數名捕縛せられたり（東京特電）

▲コ將軍所在不明

コルニロフ將軍の所在は不明なるもアレキシーフ將軍が降伏條件協定の目的にて二日間コルニロフ將軍と共にありしは事實なりと（倫敦電報）

○瑞公使通獨文書內容
勳章授與奏請＝米國務省の發表

米國々務省は亞爾然丁駐在獨逸公使の密電發表に關し十三日更に在瑞獨逸公使が本國に送れる客年三月八日付の書信を發表せり其の內容は在亞瑞典公使が獨逸公使館と密接の關係を保ち聯合國側に關する情報を供給しつゝあるより勳章を授けんことを奏請せるものにて右は獨瑞關係に就きて有力なる新證據を提供せるものと認めらる（華盛頓電報）

○獨軍飛機攻擊計畫

獨軍はリガ戰線の進擊を中止して軍の整理を行ひ百五十哩の距離に在る露都に對し盛に飛行機攻擊を行ふべく目下計畫中（倫敦電報）

○獨逸食糧制限峻烈

獨逸は本年農作物の收穫に據り食糧稍々豐富なるが如く傳へらるゝも事實は決して然らず昨年に比し睢だ非常なる窮乏を告ぐるが如きことなかるべしと言ふに止まり一般國民に對する食糧の制限は相變らず嚴重を極め規定の分量以上の麵麭を客に出したる廉を以て店舖閉鎖を命ぜられ六ケ月の禁錮に處せられたる上五萬馬克の罰金に處せられたる料理店さへあり就中雞卵、牛乳は皆無にして料理店に於て販賣する六十五瓦の肉代價四馬克半スープ一馬克半たりと（倫敦電報）

●大阪財界通信

▲全國の紡績業[illegible]
時間（三時〇九管絲出來高リング四二〇二馬力水力電力及び瓦斯二二五 南及西貢棉一八二九六貫朝鮮棉四七[illegible]
七、二六〇九七二[illegible]九六九五貫[illegible]
[illegible]要期に接近しつゝあるを以て當業者[illegible]に過ぎざりしに徵しても如何に運賃[illegible]るより供給力依然として薄弱なる[illegible]を免れざるに一方昨今鐵材の暴騰[illegible]されど到底需給の緩和は望まれざる[illegible]を調節すべきや畢竟船腹を增すに非ず[illegible]す商保合の商狀なり[illegible]

○御弔電傳達

林公使は十五日我 天皇陛下より故大總統夫人に對する御弔電を傳達したり（北京特電）

◎京畿道面分割

京畿道にては來る十月一日より施行せらるべき面制に據り管內指定面に內地人面長を認め而して面制第四條に基き面を指定し面長の諮問に應せしむる爲め相談役を設くる事宛も府に於ける府協議員の如く面事務の協議に與らしむべき組織を採る事となりたる結果本道管內にては水原開城永登浦を指定面として總督の指定を受くる事に內定せる趣なり而して今回指定せらるべき永登浦は從來北面に所在せしが之を北面十一個里中より堂山里楊平里の二個里と共に分割し以上三個里を以て永登浦面を組織し指定面に編入せらるべしと因に右北面分割の上は鷺梁津に北面事務所を永登浦に永登浦面事務所を設置すべく而して從來に於ける諸種組合及び碶の事業全部、其他消防組の設備維持に關する件、衞生組合に於ける各種事業其の權利義務等一切を面に統一し以つて面以外に於ける各種協議的經費に據る團體の廢止を見るべし之が爲め目下管內各府郡に在りては此等團體の引繼ぎ準備中なりと

觀瀾亭雜俎
蘇峰生

○我より優勢者に向て、我あるを忘れ、我より無力者に向て、他のあるを忘る。是れ實に小人也、此の如き國民は、小人國民也。

○例せば支那語、朝鮮語の如きは、政治と云はず、商業と云はず、多くの意味に於て、之を學習す可き必要あり。然も我が國民の支那、朝鮮に在留し、若しくは此の方面に關係ある者にして、然かするもの甚だ少し。吾人は此點に就ては、支那、朝鮮に於ける、外國宣教師にさへも、及ばざる數等なるを怍づ。

○將た今日は、所謂る外國崇拜熱を、一掃したりと稱するも、依然外人の立場より、我が帝國を觀察する者少しとせず。吾人は先づ彼等に向て、其の國籍を問はざらんとするも、能はざる也。

○學問に國籍なしとは、學問の世界的なるを意味する也。されど彼等には、國籍なきにあらず、日本國民にてありながら、日本國民てふ國籍の觀念なきのみ。全然世界の一市民たらば、まだしもの事、彼等は其の精神的に於ては、無意識にもせよ、隱然たる日本以外の國籍を有す。崇英、崇獨、崇佛、崇米、滔々皆な是れならざるはなき也。

○吾人は我が周圍に對して、自我を自覺せざる可らず。自我詮じ來れば自國の事也。此の如くにして剛も吐かず、柔も茹はざるを得可きのみ。

◉列車時刻改正

十一月一日より奉天釜山間直通列車の運轉に伴ひ若干列車時刻の改正を見るべしとの事なるが其の內容を聞くに、急行列車の運轉は釜山の連絡船接續及び東淸鐵道の接續に制せらるゝため現在以上に速力を早め若くば安東の停車時間を短縮する事によりり其の大改正は期し難し但し安東の停車は其の午前の接續停車時間たる一時間は必要なれど午後の二時間は不必要に付何程か短縮の案ありされど時間短縮により京城並に奉天著車が現在より早き事とならば乘客も迎送客も不便を感ずべく旁々時刻改正は諸種の困難あるに似たれど急行列車一部の時刻改正は免れざるべく又その改正に關聯し京元、湖南、京義支線の如きは現行の儘にて差支なしと云ふも京仁線は若干の改正あらんと

◉穀商大會
第二日午後

十六日午後一時三十分より午前に引續き會議續行、京城穀物商の提案に成る

▲『大豆輸移出稅を撤廢せられん事を其筋に申請のこと』及『右輸移出稅撤廢に至る迄全鮮を通じて課稅標準を一定せられん事を其筋へ申請のこと』なる二議題は尙ほ多少研究を要し議論の餘地充分なる節ありとの理由に依り之が議事を十七日迄延期する事に決定し同じく京城穀物商提案に成れる

▲『第一回決議事項第五項取引上に關する紛議調停事項は次期の大會に報告すること』の項は前會議決の補足として直ちに提案通りに確定せり之れにて京城側提案は一先づ議事を終了し引續き鎭南浦輸出穀物商組合提出の

▲『汽船及び鐵道運賃に關すること』の案について提案者新井氏より提案の理由及び經過を說明し『滯貨輸送の圓滑を圖る爲め歐洲戰亂勃發以來汽船運賃の昻騰に對應する割合に於て現行鐵道運賃の引上げを希望す現在に於けるが如く一石に付き船車運賃の差額一圓以上を算するに於ては例令船腹不足を告げずして目前に汽船の入港するあるも相場其他の關係上誰か一叺の穀物すら輸移出するものあらんや故に如何にして朝鮮の特產物を安全圓滑に輸送し得べきかは即ち提案の主眼とする所たり議長も恐らく同意ならむ一日も早く鐵道運賃の引上げを實現して滯貨を未然に防遏する事に努力せられん事を望む』と結ぶ之に對し二三の議論あり結局議長は各種の意見を綜合して輸移出向大豆及穀類の輸送を圓滿ならしむるには出來得る限り海陸の運賃を節約するも亦有力なる方法と思考する故此れを以つて當局に希望することに原案を修正し議題として討論するや否やを諮る、時に三時なり

▲商船支店長說明 此時諏訪大阪商船支店長進て挨拶を試み『滯貨問題に關聯して諸君の參考に供すべし』と述べ『朝鮮より輸移出されつゝある穀物は米百五十萬石大豆百廿萬石合計二百七十萬石餘にして之を鐵道噸數に換算せば約廿八萬五千噸に達すべし其內阪神名古屋其他に仕向らるゝもの約七掛けと見て廿七萬噸を算せらるゝものを五萬噸と見れば殘部約二十二萬噸の大豆雜穀は船舶を利用して移輸出せざるべからざる趨勢に在り』と斷じ其れより大阪商船日本郵船尼崎汽船其他の船繰、內鮮間連絡に使用せらるゝ噸數隻數等詳細に貨物輸送能力に就き說明する所あり更に歐洲戰亂の影響は引いて船腹の不足運賃の昻騰を齎し第一の得意先たる諸君に對し氣の毒なれども大勢の趣く所復奈何ともなす能はざる現狀に在り』と結ぶ之に對し諸種の質問を試みて諏訪支店長の說明を求むるものありしが結局本問題は鎭南浦、京城、仁川、群山、木浦、釜山及び元山方面より七名の滯貨調查委員を擧げて考究しつゝ實現に努力する事に協定す其れより仁川側の提案たる

▲『內地各港に於ける陸揚及荷揚場所一定に關すること』の緒上を附議する事となり提案者力武氏の提案理由說明あり仁川松本氏は立つて提案の經過等を說明し『本問題の如きは當に仁川一地方の利害のみならず實に朝鮮全道の利害に關するものにして荷主の利不利の關係上是非共本大會に於て全會一致を以て商船會社へ希望する事の受諾を願ひ度し』と議長に迫る之に對し倉庫の不足地區の選定其他實行困難の場合多き等ある爲め一定の場所に決定するよりも寧ろ何所にても陸揚する事を得る方滯貨調節上却つて有利にあらずや』等の意見出で提案者より詳細なる說明あり確定に至らず既に六時となり議長は本大會に於ては提案多く之を全部附議攻究する事困難なれば明日より主要なる提案のみを捉へて附議する事と爲し提案に對する詮衡委員を擧げんと諮りしが議長に一任する事に決定し直ちに散會朝鮮ホテルに於ける鮮銀の招待に臨めり

◎支那國債募集計畫

財政部は宣戰の交換條件として賠償金五ケ年間延期此の金額五百萬元を擔保として大國債を募集すべき計畫を樹てたり梁啓超氏も亦た其の主張者の一人なりと（北京特電）

○駐外財務官制發表

海外駐在財務官々制は十七日發表せらる、右に據れば從來の財務官は外債募集に當り金融界の狀勢を視察して大藏大臣に報告するに止まりしを更に一般經濟界及び財政上の高等政策等に關して視察報告することゝなりたるものなりと。改正勅令左の如し（東京特電）

勅令第廿三號中左の通り改正す
海外に於ける帝國の財務に關する事項を處理せしむる爲め大藏省に臨時左の職員を置き英國又は佛國、露國、米國及び支那に駐在せしむ
海外駐在財務官は四人とし內二人勅任、二人奏任とす事務官は專任二人（奏任）財務書記專任八人（判任）とす（以下略す）

○沈沒船引揚計畫

鐵材暴騰の爲め沈沒船引揚げの計畫を爲すもの多し（大阪特電）

○朝紡株式割當

朝鮮紡織株式會社の株式十萬株は一切公募せず發起人贊成人のみにて引受くる事となり十六日其の割當を通牒したり（東京特電）

◉勞働者募集認可取消

秋田縣大日本鑛業會社は鮮人勞働者の募集の認可を受け一部募集勞働者を內地に移入せるが右勞働者從事者は八十錢の賃金を一圓支給すと言ひ僞り山奧にて從業するに拘らず勞働場所は東京なりとの甘言を以て勞働者を募集せし不正の行爲ありたるを以て九月十三日附を以て右募集從事者に對し警務總監部は勞働者募集の認可を取消したりと

◉國分長官木浦著

南鮮地方巡視中なる國分司法部長官は十六日午後五時海南より木浦著官民の出迎へ多數なりし（木浦特電）

◉山成臺銀理事入京

臺灣銀行理事山成喬六氏同行本店支配人池田常吉氏同行東京支店詰山縣氏の一行は十六日午後九時南大門驛著列車にて入京中村鮮銀局長飯塚秘書役等多數の出迎へを受け朝鮮ホテルに入れり十七日滯京十八日朝若くは夜行列車にて北行の豫定なり

◉吉野東拓參事入京

東拓奉天支店長たるべき參事吉野小一郎氏は十六日午後九時著列車にて入京數日滯在の上赴任すべしと

◉德富監督入京期

支那漫遊の途に上れる本社監督德富猪一郎氏は十七日午後九時南大門驛著列車にて入京北門內淸雲洞なる自宅に入るべし

◉訂正

十五日夕刊『朝鮮生絲會社許可申請』資本金五十萬圓とありしは百萬圓の誤に付訂正す

人事消息

▲福田秀一氏（法學士久原鑛業所員）▲谷亦武氏（同）十六日夜入京天眞樓へ
▲加藤鐵次郎氏（鴨江日報社長）十六日夜退京
▲ミス氏一行 十六日退京
▲ボンド中佐（伊太利大使館附武官）十六日夜退京滿洲へ

百聞百種

大隈侯も十七日が床拂ひだ相な洵にお目出度い事だ▲道が紛擾して居た早大問題も侯のおさばきで無事解決する事だらう▲侯のおさばきと云へば何時だつたか侯が或る事件で學生の代表者十數名と會見した時の事▲長廣舌で三百年も昔からの事を滔々と喋つて學生連には一と口も開かせず▲例の拳骨を振つゞけた最後に『要するにデモクラシーとはデモの暮しであるんである』▲とやつたので學生連も啞然悄然直に引き下つたが今度も此の調子でやればスグ靜まるのだらう▲我子に名を付ける如なとは能く云ふ言葉で▲彼れか之れかと却々鳥渡判斷が出來ぬものだが▲子供の名前を見ると何處かに親父の性格の閃きがあるから妙なものだ▲と云て東京帝大教授の金井延博士の子供の樣に▲長男が經彥長女が國子次女が濟子次男が民彥▲其れから三女が正子三男が義彥四男が勝彥五男が利彥▲此の頭字を一人々々取つて見ると經國濟民正義勝利の八文字▲こんなに都合能く並んで居るのも珍らしからう▲或る處の奧樣が女中に小言を云ふとまだ馴れない女中は泣き出した▲奧樣も大いに弱つて『何うも此頃の女の子は神經さびんで困る』女中君益々面喰つて早速書生の處へ行つて『神經さびん』とは何ですかと聞くと▲書生君濟した面で『そりや花瓶と間違へて居らつしやるんでせう』は振つて居るが▲之れが眞實眞劒の話だから益々振つて居る

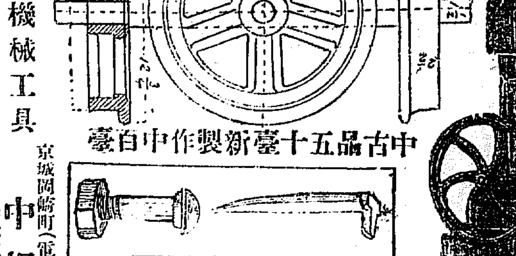
九月二十一日より咸鏡線北部
蒼坪 豐山間 鐵道開通
新設停車場 全巨里 豐山
同日より古茂山停車場にては一般荷物の取扱を開始し蒼坪全巨里停車場にては旅客手荷物に限り取扱ひ致候
南滿洲鐵道株式會社京城管理局

◎百圓の金が十萬圓になる
[illegible]

古物商帳簿 賣入、賣上、三冊一組前金八十五錢に限
京城明治町二ノ二八九(?) 瀨川中央堂 振替京城二〇四五番

立型汽罐 何れも新品同樣當工場在庫

徑六呎長十二呎 水壓百五十封度 一個
徑三呎長五呎 水壓百四十封度 一個
徑三呎長七呎 水壓百五十封度 一個
徑二呎六吋長六呎 水壓百六十封度 一個
チユブボエラー 徑三呎長六呎六吋 水壓百六十封度 一個
コールニッシ 徑三呎六吋長十二呎 水壓百五十封度 一個

土工用車輪

中古品五十臺新製作中百臺

在庫豐富

當工場の製作各種鑛山機械は朝鮮物產共進會に於て賞牌三一褒狀を授與されたる朝鮮鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得たり
□當店は物價低廉の際輸入在庫品豐富に付一般來日本へ移出中の所船腹の不足の爲め是又時日を要するを以て今回朝鮮內に於て一大放賣を決心し既製品の外は勿論加工鐵工に於ても一般の業務を廉價に御注文に應じ候間何卒御用命願上候
機械工具 直輸入製作
京城岡崎町（電話一二五六番） 中根工場
南大門通五（電長四〇二番） 中根販賣部

火災にポンプ ポンプは熊平
全鮮消防組御用
京城本町二丁目 熊平支店
電話四六二四番 振替京城二二二番

[illegible]に於ける全鮮紡績[illegible]
狀況は運轉錘數リング三千九一三 高六二四五六三八貫 屑糸出來高[illegible]製品高を見に[illegible]二五六〇三〇九二
五三本ミユール一八四七六三五本計二八 三三七二三四貫 石炭消費高八一七九 貫米棉一四三九七一五貫支那棉二
九八八本營業日數一六二日は 營業 一三三一八四封度使用實馬力火力七〇 五七六六〇貫埃及棉八二二七貫安
[illegible]二九九七一三七貫に比し一三五三七二貫の増加を示せり

▲近時の木材界 近時木材界は一般に甚だしく緊張し殊に漸次需[illegible]期なる夏季に於ても[illegible]不足のため[illegible]道運め移出難なるとして[illegible]前年此季に於て同地の搬出量は約二百萬石に達せるものが本年は僅に其三分の一[illegible]の便に依らざるべからざるも梅田驛及び鴨綠驛に搬荷するものは既に發送先に於ける搭載を見合す等の事情あ[illegible]材の需要多きにも拘はらず[illegible]拂底の爲に如何にしても需給の權衡を失し其の補充策に苦心し慘憺たる有樣にして前途如何にせば此の缺點[illegible]

▲[illegible]々需要期に入らんとし氣配一般に強硬なり一方綿糸株式市場の暴落あるも左したる變動なく相場は相變ら[illegible]

● 一千二百の聴衆

惻々として感動す

本社及無門會主催 釋宗演老師の講演

◇◇◆『座右の銘』九箇條に就て◆◇◇

十六日午後二時より日出小學校に於て釋宗演老師を請じ本社及び無門會主催にて通俗講演會を開會せり本社が學術、宗教、教育界等の大家來京する毎に通俗講演會を開き廣く一般に公開し其度毎に或は最近の學説を紹介し或は

◆精神修養に資する等功果少からず毎に聴衆の滿足する所なりしを以て此の日も早きは正午頃より來場して開會を俟つ向きもあり定刻に及びては流石に廣き講堂も人を以て埋められ會衆一千二百と註せられたり午後二時十分阿部本社々長通俗講演會開會の挨拶を述べ老師を紹介し次で宗演老師登壇し『座右之銘』と題して開講『凡そ古來大事業を成し遂げたる人々は何れも云ひ合せたる如く各自に座右の銘を有せり予は曾て私かに我が座右の銘を作り之れに由つて

◆我一人の身を處し來た

曾て之れを他に示さゞりしが後次第に人に洩れたるを以て予と感を同じくする人の爲め之れを示し相共に之れを實行せんとすと先づ九箇條より成る座右の銘を讀み上げて曰く

（一）朝に起き未だ衣も更へざるに靜坐し一香を焚く

（二）既にして衣帶を著けなば必ず神佛に禮せよ

（三）眠は時を違へず食は飽に至らず

（四）客に接する獨處が如くし獨處客に接するが如くせよ

（五）非常に言はず、言へば則ち必ず行ふべし

（六）機に臨みては誘るなかれ。事に當つて再び思へ

（七）過去を妄りに思ふなかれ、遠く將來を慮るべし

（八）丈夫の氣を負ひ、小兒の心を抱くべし

（九）就寢には棺に入るが如くし、寤むるには履を脱つる如くせよ

と老師自家の座右の銘を提示し之れに由つて約一時間半に亙り

◆老師獨特の圓轉滑脱、俗耳に通かき言語を以て處世の妙諦を論じて神、動かすべからざるの權威あり千餘の聴衆をして傾聴して自己を省察せしむ三時三十分講演を終り阿部社長閉會の辭を述べ茲に最も有益なりし老師の講演會を終りたり來聴者の内には立花第十九師團長、關屋學務局長、鵜沢總務部長、久水外事課長、持地遞信局長、岡本同局技師、權藤李王職事務官、千輪事務官等あり特に今回の講演には婦人及び兵士來聴亦尠からざりき

□稔彦王妃殿下

御著帯式

東久邇宮稔彦王妃聰子内親王殿下には目下御懐姙中にて十七日午後御著帯式を擧させられたり（東京特電）

● 大谷光瑞師

大連にて講演

十日大連に來著せる大谷光瑞師は十二日南滿洲工業學校講堂に於て南洋視察に關する講演をなしたるが定刻以前既に滿堂立錐の餘地なき盛況を呈せり光瑞師の談話は先づ南洋の氣象より説き起し南洋植物及び鑛物動物に就て其の概況を述べ南洋に於て研究に値ひするは畢竟植物にありとの結論に到達し次で獨逸の南洋に於て爲せる積極的諸施設を述べ日本人が正貨流出を恐れたる其の遺風は今も尙ほ已まず南洋貿易と云へば輸出のこと計り考へ粗製濫造の雜貨を輸出して百年の大計を誤る所以を指摘し大に輸入貿易を試むべしとて南洋と滿洲との有無相通ずべき貿易上の著眼點を細示し大連の實業界に大なる警告を與へて午後六時講演を了りたるが光瑞師は十三日旅順に至り同地の別邸に靜臥して十月下旬北京へ向ふべしと（大連）

● 民間飛行家

大成功

民間飛行家伊藤東次郎氏は十六日朝大阪練兵場より飛行を試み大阪市の中央部を一週して美事に飛行を終り無事著陸したり（大阪特電）

● 東京に虎疫發生

檢鏡の結果陰性

東京市深川區西平井町礎井瀧三郎（三）は十三日虎列拉疑似として駒込病院に收容されたるが檢鏡の結果十五日陰性と決定したるを以て警戒を解けり（東京特電）

● 京城で犯した罪

咸南北靑で取押へらる

愛媛縣南宇和郡西外海村清元千城（二八）は本年五月十日頃咸南北靑郡新昌面新里回酒店田羅林治方に傭はれ中過日取押へられたるが同人は以前京城南大門驛前吉野町一丁目中島竹次郎方に雇はれ居り時計事務を取扱ひしが大正五年十二月より大正六年一月迄の間に於て赤萩養鷄場外四名より受取りたる小麥粉代九十一圓五十七錢を領收費消し尙ほ同家に於て保管せし朝鮮商業銀行南大門支店の小切手帳並に中島竹次郎の署名印私印を濫用して五通の小切手を偽造振出し合計百五十餘圓を騙取し又六年三月中中島方店員渡邊喜七より京城府衛生實行部に支拂ふ爲め預りたる麻袋代五圓二十七錢を横領費消したるものにして横領文書偽造行使詐欺罪として目下咸興地方法院の合議裁判に付せられり

● 幼兒を溜池へ

投げ込む

亂暴な三少年

名古屋市養老町機織業原格次郎次男正一（六）は同町山田英次郎四男酒造藏（二）外三名と蜻蛉を取りゐたる所正一の持てる鳥黐の附しある竿を貸さぬとて三人の爲に溜池に投げ込まれ溺死したり（名古屋電報）

● 七千圓の横領

大阪市南區商江町八番町清水（三〇）は京城南大門通三丁目なる米國商店の支店に雇はれ其の主任として諸機械類の販賣代金の出納等擔任中大正二年十月頃より大正五年七月迄の間に商品類の賣掛代金六千九百五十六圓餘並に其の他委託販賣物の代金等二百圓計りを横領して遊興費又は生活費に消費したる爲遂に檢擧され京城地方法院にて懲役二年の判決を受けしを不服とし同覆審法院に控訴せり

● 婦人を蹴殺す

咸南文川郡

咸南文川郡龜山面錦湖里崔義煥（二一）は六月二十三日妻李姓女が同面德待里李寶培と共に相撲見物に行きたる儘歸宅せざりしは寶培が隱したるものと邪推し同夜昌鳳方にて寶培と爭論の末強く蹴つけし爲め同女は遂に七月二十一日死亡するに至りたるより檢擧せられ義煥は咸興地方法院にて懲役三年の處分となれり

● 偽造證で詐取

晉州郡非村面孔下里農金夢悦（三二）は同所大安洞代書業兼税所進補助者金榮濟（二二）及泗川郡中洞面吉坪里無職姜大仁（四〇）と共謀し金夢起の印章を偽造し同人の所有たる孔下里の水田千六十坪外六筆合計五千三百六十一坪を抵當とした文書を偽造し面長の偽印を押捺して平安洞金龜順より貸借名義の下に金八百圓を騙取したること發覺し晉州署の手に逮捕取調中の處本月七日公判開廷されたり

● 五人掛りで

咸南咸興三平

咸南咸興三平面仁興里崔斗日（二八）崔斗煥（二三）金泰根（二〇）金允癸（三二）崔弘駿（二五）は共謀の上去る八月二十六日の夜三平面新興里楊觀壽方に立寄りて同家に泊り居たる同面仁興里吳完忠の三女なる吳貴仁順（一七）をば崔斗日の妻に爲さんとて五人掛りにて攫ひ行き同面松亭里金明勤方に至りて女を毆打し疾病休業七日を要する傷害を負はせて悉く捕逮され取調べの上咸興地方法院の公判に附せらる

● 不心得の若者

北海道渡島龜田郡大野村生れ當時京城舟橋町居住石島孝一（一八）は平山牧場の牛乳配達に雇はれ中八月六日同家の現金四十七圓餘を窃取し林町居住福島縣石城郡江名村生れの吉田福彌（二九）は情を知りて右の金員中四十二圓餘を預り内七圓計りを遊興消費したる一件は京城地方法院に於て榮は懲役三箇月福彌は懲役三箇月罰金二十圓の判決を受けしが榮は之れを不服として京城覆審法院に控訴せり

● 轢死男

去る八日午後一時五十分南行第三十二號列車が釜山鎭驛を距る約十二町の地點に進行中突然年齡四十歲位の内地人男の線路に飛込み頭蓋骨を粉碎して轢死を遂げたるを以て直ちに其筋に届出たるより係員出張檢死を行ひたるも住所氏名判明せず風體より見れば糊口に窮し厭世の自殺なるべしと屍體は府廳に引渡さる（釜山）

● 主家の自轉車を横領

岡山縣淺口郡玉島町生れの淺野孝吏（二一）は京城花園町朝鮮物價通信所關野高藏方に雇はれ中七月二十九日同家の自轉車一臺を本町四丁目の杉本質店に五圓に入質して横領消費し京城地方法院にて懲役一年の處分となれり

● 今後の天候は

甚麼か

晴天に復するだらう

十五日來霧雨が再び戻りかけて十六日にも驟雨さへあり今後の天候如何と疑はるゝ節あり今京城測候所員の語を聞くに十五日朝九州北部を可成り深い颱風が東方に向つて流れた爲め同方面に於ては十五日來降雨を見たが鮮滿地方は其影響を

▽被らなかつた 所が十五日來日本海から朝鮮方面に擴張した高氣壓が十六日朝に至つて衰弱したのと一の低氣壓が靑島方面に現はれ其の示度七百五十八粍を示すに至りモウ一つ黄海と又北滿洲方面にも局地的低氣壓が發生した模樣が見れたので朝鮮は全般に渡つて温かく例年の同季に比して約五度も

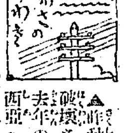
▽氣温が上つた 譯である▽ソレに前記黄海方面の低氣壓が稍々發達したものであるから十六日午後三時三十分頃驟雨を見、此の雨量が一時間一坪約一斗に及んだ譯である而して一方前記靑島と揚子江附の南部にある低氣壓は兎角停滯し勝ちであつて著しき動搖も無い樣に觀測されるから十六日から或は十七日の午前にかけて

▽少しは雨が降るかも知れない左れど又た一方に高氣壓が北支那の一部に現はれかけてゐるから或は其の模樣次第で晴天に復するかも知れない

● 上杉稲葉兩師講演

東本願寺にては今回支那地方巡錫中なりし上杉文秀師稲葉圓成師の入京を機とし十七日午後七時半より同院にて講演會を催すべく演題は文秀師「日本佛教の特色」圓成師「吾人の進むべき道」なりと

新式魔法瓶 新荷著
□容量 二合七勺以上 六合五勺迄
□代價 一圓廿五錢以上 五圓十錢迄
中瓶の破損は安價に即時入換可申上候
㊀ 京城 三越呉服店



▲昨秋洪水で鐵橋を破壞された安養川は去年の九月十四日西鮮へ赴かせらるゝ閑院宮殿下を渡し申し上げてから、改築されてよくなつたが▲あの西方の砂に埋れた石造橋は朝鮮唯一の虹橋ださうな▲由來朝鮮は石材が多い爲め石造の工藝が發達したものだが此の橋は今から百廿三年前の架設になり延長二十四間幅六間三尺、高さ四丈五尺あるといふ▲橋は正祖王が水原華山の陵に參拜の爲め架したもので場所は京釜線の始興驛と安養驛の間——總督府渡邊彰氏の談である▲十四日から施行された金銀輸出の制限によれば滿洲に旅行するものは金貨廿圓未滿、銀貨十圓まで、外國へ行く者は百圓と五十圓までと制限された▲京城で紙の暴騰に困る者は新聞社と煙草會社であらう▲わけて後者はボール箱から上包紙、中包紙、ライスペーパー等何れも三四割の暴騰▲原因は製紙會社で拵らへても拵らへても品薄の上にお剰けに外國にまで持ち出されたからだといふ▲先生の仰在る通り一枚の紙も粗末にならぬ時代となつた

壇上の宗演老師と聴衆（上）
場外に溢れたる聴衆（下）
——十六日午後日の出小學校にて——

京日案内
普通（一行十四字詰）五十錢 番外（一行十四字詰）一圓（匿名一圓五十錢）前金（二回以上の御申込は特に割引）
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

大募集 洋書並大正琴販賣員百名 人用有利條件附地方特約店應申込 東京淺草駒形電停留前 東京洋書協會 566

本町一丁目（明治町通） 古本買受申候 御報參上電三〇五〇番 野村書店 525

電話三番もの賣物あり希望の方は左記へ照會あれ（電話二〇三番） 南山町三丁目 巴城舘上 吾聯 573

◎質商又商店伺 ▲場所林町四九番地 ▲貸家 間數八間離家及土藏付 黄金町三丁目二四一番地 古賀迄 557

◎岡崎源太郎君 増若で見た白い石に付て相談したし居所しらせ 姓名在社 563

◎寫眞舘 現營業の儘雜作全部讓 京城目抜の場所歸國に付 詳細面談 京城吉野町一ノ九一 武殿 564

◎土地建物附賣却 格安坪拾圓五十錢至急讓る 坪數百十五坪 北米倉町百六番地 山川 569

◎讓店 日收入多合 茶及菓子老舗七年得意 家賃極安 中込所本町四 本町四丁目 鰹節商 寄木出張店 571

番外

活版職工至急募集 植字職工一名 洋本職工一名（日本人）（見習も出來る者） 元山府本町 馬場質二 572

年金四年半迄 恩給低利即時立替 利子先引なし確實融通 ▲京城永樂町 商品陳列館前下角 江州屋本店 481

◎鑛物各種分析 太平町二丁目三六（電話二八三） 遠藤醬油店向側入る 松永分析所 511

恩給年金立替 五年半迄 利子電話二三九一番 三年分迄無保險 京城若草町三〇（金光教會裏手） 國江商會 526

◎京城發前八時 京城水標橋通り 電話二一三八番 ◎春川發前八時 間合自働車 京春川 金化 片道四圓 京春自働車商會 松田壽男 34

◎◎スネーク號自轉車 スネークタイヤー 發賣元 京城◎ミノヤ自轉車店 540

一千圓新債券 附六十六回
月賦賣 最初一圓六十錢二回目以後一圓九回目精算
特種月賦
[illegible]
大阪天神橋南詰 東京芝區 電話長三八五九
朝日債券株式會社

しぼりはらこよし
くだりはらこよし

東京浅野製

子宮病と血の道とリウマチスに悩む人は

彼れ是と迷ふを無く
眞に能く効く
神仙湯を

◎烈しき神經痛で悩みし人
◎頗る難治のリウマチスの人
◎數年固疾の疝氣で苦しみし人
◎百法効なき子宮病の婦人
◎常に悲しむ血の道の婦人
◎多年悩めるヒステリーの人
◎不治の慢性胃腸らめし人

即刻試みよ現に……なぞか此良藥神仙湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な禮状（現在保存一般の閲覧に供す）を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に悩む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神仙湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

躰質改良劑

●こんな徴候の人
胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等つり、腫れ、しびれ又は筋張痛み●彼處此處と移動し●何となく怠く●腹張差込●腹なり胸つかえ●溜飲●食進まず又は進過ぎ●便秘又は下痢●寒氣●逆上●血眼●目暈●耳鳴●頭痛●歯痛●頭重く肩凝●腹に力なく●腰足冷へ●夜眠られず●根氣薄らぎ記憶あしく●氣鬱●癇高ぶり●物事に感じ易く●顔手足の浮腫等
疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に悩む人は片時も早く神仙湯を試みよ

藥價 半週間五十錢●一週六十錢●二週一圓十錢●三週一圓六十錢●五週二圓五十錢●十週五圓●試用分十錢●廿錢

本舖 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎
電話長千百二十七番 振替口座 東京一二四三番 大阪二二九五番

櫻御殿

第十八回　大阪　霞の家主人

舊恩（二）

村越下野守直吉が、諸將の勞を慰むべき家康の使命を帶んで、江戸から清洲へ到着したは八月十六日（一月十九日とも云ふ）の朝であつた、井伊本多の二將は城外まで出迎へて、兼て設けの旅館に入る、井伊も本多も、家康が今に至るまで江戸を發足せぬ事が、何う考へても腑に落ち難ねた、それで直吉が座に着くのを待つて

『上樣はまだお江戸か、此方では馬も兵も悉く退屈を致し居るわさ』

と直政はまづ訊いた

『まだ〱』と直吉は頭を掉る

『それが合點行かぬ、敵方の動靜は時々刻々飛脚をもつてお知らせ申した、上方の總大將石田治部は、もう大垣の城へ著いて居るぞ、岐阜の城には精兵六千五百餘騎楯て籠り、犬山、竹ヶ鼻の兩城から應援の勢を繰り出し居る、先陣を蒙つた者共、敵の兵に木曾川を渡らせじと肝を焦て、上樣の御出馬を待つて居るのが、江戸表へ分つては居ぬかのう』

本多忠勝も無念の目を瞬つて云ふ

『さ、其處ぢや』と直吉は扇の風を納れながら『其處にちよつと間隔がある、上樣は先陣の方々をまだお疑ひになつて居るのぢや』

『た』と二人は流石に惱れて『福島、細川、加藤（嘉明）淺野、黒田、堀尾の諸家を始め、假初にも上樣へお味方致す旨誓言して上り參つた方々に異心などござらうか、いかに御用心が肝要とて、石橋を叩いて渡る者は愚人の中でござるぞ』

『貴樣達の用心と上樣の用心とは、用心の木が異ふ、上樣は一戰を待つてお在でおぢや、勝敗は何うあらうと先陣に立つた者、一筋の矢にても射出し、一挺の鐵砲でも打つて、合戰を開かずば、諸將の向背何れとも決め難ねると御意遊ばす、すれば直ぐ御出陣ぢや』

直吉の詞を聞くと、井伊本多は目を見合はせた、困却の樣が歷々見える

『此方では上樣の御出陣を待ち、上樣は此方の合戰をお待ちとある、その內に時機後れては敗れの基ぢや』

直政は本意無げに云つた

『さりとて、此のまゝに致し居つては際限が無い、寧ろ一合戰なされては何うござる』

直吉は輕い調子で云ふ

『七里けつぱい〱、切角眞心をつてお味方申した人達へ、上樣御疑念まだ晴れず、合戰の模樣を見させられた上、江戸御發足のお心構へなど申したら、氣の早い侍從殿、大阪に御縁の深い黒田、淺野、堀尾、加藤にも其分では終ますまい、上方の藩宜を捨て、內府公へ誓文を捧げ參らせたを、倘お疑ひあるに於ては早や此まで、速かに大阪方へ屆き申すなど云ひ出すものあつて御覧じろ、先陣の諸隊は立ち所に瓦解致す、すればお味方一大事ぢや、その上、福島殿、池田殿、この間がしつくり參らぬ、一方を抑へると一方が上り、一方を揚げると一方がぶつ〱云ふ、この行司に困るのは我々二人ぢや、そこへ上樣、御疑念の口上など聞こねては、忽ちに和が破れる、はて困つた、幾萬の大敵には恐れぬが此の始末にはとんと困つた』

忠勝は手を叉んだ

『そこにもう一つ離儀がある、それは治部めの手から、加增、黄金、官位などを香餌として、お味方の大將株、家老株、旗頭を釣りに參ることぢや、その防ぎにも疲れ申す』と直政は訴へる

笑顔見たさに　木村屋パンの　みやげ片手にいそ〱と　（京城明治町　電二八七〇）

『さらば何うする』

『此の事穩密、今日城中の大廣間へ、諸手の大將を召し集め、上樣近々御出馬の旨を眞賢らしく披露して下さるのぢや、すれば諸人も安堵して、一入堅く結束を致すでござらう』

『それも一策、然し、合戰の無い間は、上樣御出馬ござり申さぬぞ』

『由て只今の口上を披露して置き、貴殿はすぐに取つて返して、上樣へ此の方の模樣を言上、すぐ御出陣の御沙汰あるよう、能く言上して呉れるのぢや、こゝで一刻を過まると、永々取り返しの付かぬ大事となるわさ』

井伊本多は左右から說き立てる、直吉はやつと二人の說に從つて、早々諸大將へ家康出陣の旨を披露する事に定めた

日報俳壇

夏　雜（二）

蟬鳴ふ砂に浸み込む通り雨　森　糸
楢の大樹を染むる夕日や蚊喰鳥　同
父母の墓ひ詣り聞きし居る葬の蚊帳哉　月小夜
晝寢時を今日も隣は謠の出しり　同
夕立の晴れ行く土手や馬の鈴　紫　水
氷質の荷を下し居る樹影哉　同
曉の社頭閑かに松落葉　芳　州
座食する山荘の客り風薫る　想　仙
海の風に松露匂ふや松落葉　天然松
羊遂ふて渡る流れや夏の月　天　水
縮馬のある辻堂朽ちて夏の草　白樂天
河涸れて熱風にポラ光る哉　同
遂があつて蛙ゝ宿の二階哉　拓　川
夏の月寢轉んで居た手の痺れ　默々
月に踊る浴衣に貰ひ火を借する　待　宵
月の野路を浴衣二人が吹れゆく　同
卑に溢るビールの泡に月涼し　同

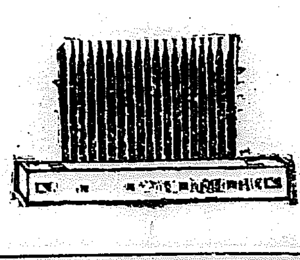
新刊紹介

▲長春貿易協會月報（九月號）長春貿易協會
▲ローマジ（一二の九）一部十二錢東京麴町有樂町一の三ローマ字ひろめ會
▲海友（八九）一部十五錢大阪寺內通二天速海務協會
▲水産界（四二〇）一部二十五錢東京赤阪溜池大日本水產會
▲石油時報（六の六）一部十五錢東京麻布龍土町六三社

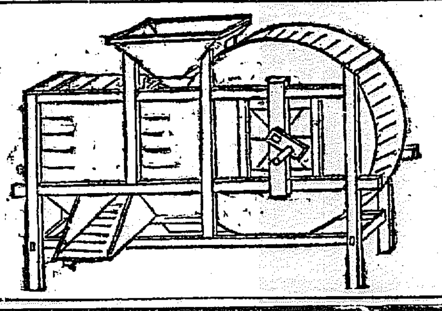
○瑞、芬間飛行機開始

▲木浦　◇司法部長官　全南地方巡廻中の國分司法部長官は十六日……日和順を經て歸社の筈▲棉花買收　每年棉花時期に於て問題となれる棉作買收も幾分の開放を見て買收者は……理者京城、群山等よりの屆出あり愈々出棉季に入らば激烈なる競爭あるべき模樣なり

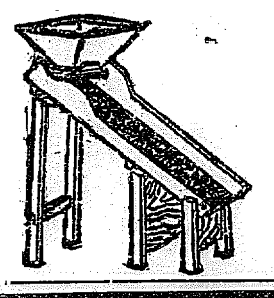
●九月初旬……



◉稻扱



◉唐箕



◉萬石

米穀調製用具各種

京城南大門通
戸田春藏
長電話三八六番　振替京城三七五番
工場　旭町二丁目　黄金町一丁目

▽夏から秋へ
變り目のお化粧—（その三）—
手輕で美くしい
レート粉おしろい
暑さに荒れたお肌は
白粉が附き惡う御座います—

◎これは誰方も御經驗でせう◎
然し、御心配には及びません。避暑や海水浴で、日焦けしたり、荒れたりしたお肌でも、これを整へるのが化粧品の役目で、殊に日本で最初乳白美容料を創製した、レート白粉本舗では原料と製法とに苦心し、優れた技師の學理と經驗とで、立派に御心配なく、お肌を整へ美くしいお化粧が出來る、レート化粧料が完成されて居ります。

◎それでは何を使つたらよい◎
こいふ、お尋ねがあれば、お化粧にはレート白粉のどれをお使ひになつても、乾度、お肌を整へ滿足なお化粧が出來ますが、至極お手輕に美くしいお化粧をして置こうと思へば、レート粉白粉をお使ひ下さる事です。それで、暑さ荒れのお肌の事ですから、粉刷きなさる前に、クレームレートを下地に引いて頂きたい。こうすると、

◎獨りで出來る美顏術として◎
有名いクレームレートは、先づ素地を整へて肌理を細かにし、血色をよくする上に、白粉附りを自由にさせますから、分子が微細かくて被覆力の強いレート粉白粉を其上へお刷きになると、一層よく、附り伸びが充分となつて、決してお化粧崩れがせず、ホンノリ艶の美くしい白さに附きます。其、上品な白さの加減は實に品格を高めます。

◎海綿で眞珠を包んだやうで◎
このレート粉白粉の粉刷き化粧は「新東京式お化粧法」の一つとして、何處でも賞讚され流行して居ります。暑さに肌荒れした此節この手輕で美くしく出來るお化粧法をお試しなさるのには一番よろしうムいます

東京　レート化粧料本舖　平尾贊平

洋鐵　洋釘　鋼　亜鉛　平線　浪板　鐵力板　眞鍮板　銅線　地金類
福田又　京城支店　京城南大門通三丁目

花柳病外科專門
●梅毒●淋病●泌尿生殖器病●睾丸病●痔病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱ヒステリー●
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院　電話三〇六五番

贊化病院
京城明治町一丁目　電話二四番
內科　小兒科　入院隨意
每日五名を限り無料施療す
醫學博士　古城憲治
岡山醫學士　上野亮藏

金泉榮州間自動車發着時刻

下り	一番車	二番車
金泉發	前八、〇〇	後三、〇〇
玉山發	九、〇〇	四、〇〇
尙州發	一〇、〇〇	四、四〇
咸昌發	一一、〇〇	—
龍宮發	一二、五五	—
醴泉發	一三、〇〇	—
榮州着	二、四〇	—

上り	一番車	二番車
榮州發	前八、〇〇	—
醴泉發	九、三〇	—
龍宮發	一〇、三〇	—
咸昌發	一一、三〇	—
尙州發	一二、三〇	後三、〇〇
玉山發	一、三〇	五、三〇
金泉着	二、三〇	六、三〇

▲小荷物運搬仕候
織居自動車部金泉支部　金泉電話四八番

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行　○和歌浦丸　九月　日後五時出帆　○立神丸　九月廿七日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行　○和歌浦丸　九月廿六日後十時出帆　○立神丸　九月　日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行　○第三琴平丸　月　日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行　○第三琴平丸　月　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日（午後十時出帆）
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行　（關東都督府命令船）第廿共同丸　九月十九日午後入港　九月廿一日後十時出帆
朝鮮經濟主要港に荷客連絡輸送取扱　大連にて南滿行定期船接續荷客共通輸送取扱
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店　春日町（電話二四四七番）田口回漕部
京城取次店　南大門（電話二六八・二〇七）河村運送店

朝鮮郵船出帆
本社　電話長一九五二番二三番　京城南大門通　松原運送店　電話長一七〇番
○關門より釜山各地經由雄基行（但し×印あるは江原道寄港せず）×京畿丸　九月廿三日　忠清丸　九月廿九日　×咸鏡丸　九月十八日　平安丸　九月十七日　釜山發
○元山より各地經由雄基行　穩城丸　九月廿一日　鏡城丸　九月廿四日　成鏡丸　九月廿二日　元山發
○浦潮行（元山より城津清津經由）平安丸　九月廿一日　元山發
○元山長箭間　鏡城丸　九月　日　忠清丸　九月二十日　鏡城丸　九月廿三日　元山發
○釜山元山間（二十一日休航）
○釜山鬱陵島行浦項及各地經由　慶寶丸　九月十九日　釜山發
○浦項行（迎日灣方面甘浦九龍浦經由）江陵丸　襄陽丸　毎日　釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由　昌平丸　九月十七日　釜山發
○麗水行（各地經由）海州丸　統營丸　巨濟丸　毎日　釜山發
○木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）順天丸　南陽丸　三日目毎に　木浦發
○木浦より濟州島行各島經由　東廻、木浦丸　九月二十日　西廻、公州丸　慶興丸　九月十七日　木浦發
○多島海各島行　慶興丸　九月廿二日　木浦發
○木浦行（群山其他各地經由）晉州丸　九月十七日　麗水丸　九月廿二日　仁川發
○鎭南浦行（海州其他各地經由）宗信丸　九月廿二日　仁川發
○海州行（江華島喬桐島經由）全州丸　錦江丸　毎日　仁川發
○青島行（芝罘、大連經由）江原丸　九月廿一日　仁川發　但し三十一日は休航

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行　○大湖丸　九月十七日後四時出帆　○大有丸　九月十九日後四時出帆
▲印大阪直行
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　商杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行、大沽（天津）牛莊行　相模丸　九月廿八日　高砂丸　十月九日　三河丸　九月二十日　正午出帆
仁川海岸町十二丁目　電話　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
●神戸、大阪行　×信濃川丸　九月　日　×漳州丸　九月廿六日　後二時出帆
●南浦、神戸、大阪行　油頭丸　九月二十日後二時出帆
●木浦、釜山、嚴原、和の浦、長崎行　×安東丸　九月廿五日後二時出帆　×安東丸　十月十一日後二時出帆
●横濱行　油頭丸　月　日　福州丸　月　日　後二時出帆
●南浦行　漳州丸　九月廿三日後二時出帆
●鎭南浦、大連行　×安東丸　九月二十日　×安東丸　十月六日　後二時出帆
●西湖津新浦城津清津行（元山出帆）宮島丸　九月二十日後十二時出帆
●清津行（元山出帆）安平丸　九月　日後十二時出帆
●上海、基隆、打狗行（大連出帆）基隆丸　十月十二日後四時出帆　湖北丸　九月廿七日前五時出帆
御注意
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話五五八番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　朋興旅館　電話二六番